

初めてでも大丈夫！

小学校外国語主任 サポートマニュアル



2019 年 3 月

こちらは白紙ページです。

作成に当たって

2011年度から、小学校5・6年生で初めて「外国語活動」が必修になりました。それに伴い、各学校に「外国語活動主任」（名称は様々）の役職が設定され、たくさんの先生方がその職で活躍してきました。

2020年度、いよいよ「外国語科」がスタートします。教科としての学習が始まり、3・4年生における「外国語活動」も本格実施となります。大改革であるため、小学校外国語教育にはまだ多くの課題が残されています。

最近では、専科教員や中学校教員による授業も増えてきましたが、「担任が授業を！」を合い言葉に、たくさんの先生方が熱心に指導方法を学び授業を行っています。小学校の3分の2の学年で外国語教育が実施されることになり、今後ますます先生方の指導力・英語力が求められるようになってくることと思います。

「小学校外国語主任」は、これからの小学校における外国語教育の推進に向けて大切な業務を担うことになります。外国語教育推進体制づくりをはじめとして、研修の企画・運営など、その業務は多岐にわたります。主任の中には外国語の指導免許をお持ちの方も、そうでない方もいます。外国語の指導経験もまちまちです。

そのような現状の中で、改めて「小学校外国語主任の在り方」を考えながら、多忙な毎日の中でその職務が少しでもスムーズに行えるように、少しでも安心して業務に携わることができるよう、このマニュアルを作成しました。

各学校の実態に合わせて、ぜひご活用ください。

Let's try.



We can do it!

作成に当たって	1
目次 Contents	2
はじめに 小学校外国語教育の課題は？	4
校内における研修の実際	5
校内における研修のメリット	6
第Ⅰ章 外国語教育に関わる校内における研修編	7
1. 小学校外国語主任チェック	8
2. 研修に係る年間業務リスト例（年2回 or 3回研修）	10
3. ビギナーコース・研修編	
(1) はじめの Q&A	11
(2) 研修前の Q&A	12
(3) 研修方法の Q&A	13
(4) 研修後の Q&A	14
(5) 短時間研修の例（デジタル教材の使い方＋教室英語について）	15
(6) じっくり研修の例（Small Talk の理解と演習）	16
4. ステップアップコース・研修編	
(1) 研修前の Q&A	17
(2) 研修後の Q&A	18
(3) 短時間研修の例（「読む・書く」活動の進め方）	19
(4) じっくり研修の例（中学年・高学年の授業づくり）	20
5. チャレンジコース・研修編	
(1) 研修の Q&A	21
(2) 短時間研修の例（目的に応じたゲーム活動の進め方）	22
【資料】その他の研修例	23
【コラム① 校内研修が変わる！？】	25
【コラム② 外国語教育に係るキーワード解説】	26

第Ⅱ章 外国語教育推進体制づくり編 27

1. 校内の外国語教育推進上の課題 28

2. 推進体制づくりのための年間業務リスト例 29

3. 「ひと」との連携

- (1) ALT との連携 30
- (2) 管理職・教務主任・先生方との連携 34
- (3) 外国語部会の実施 35
- (4) 外部人材との連携 36
- (5) 他校の外国語主任との連携 38

4. 「もの」の活用

- (1) 年間指導計画等の作成 39
- (2) 評価に関わる資料の作成 40
- (3) 授業づくり支援のための情報提供 41
- (4) 校外研修についての情報提供 43
- (5) 保護者への情報提供、保護者との連携 44
- (6) 英語力アップのための外部試験 45

【コラム③ 研修や授業で使える英語ミニ知識】 46

第Ⅲ章 資料編 47

- 1. 外国語だよりの例 48
- 2. 各種様式例 49
- 3. 英語ルームの整備例 50

【コラム④ 英語の身振り・手振り・表情・ジェスチャーとは?】 51

【コラム⑤ 英語の相づち・日本語の相づち】 52

参考文献 53

主な登場人物



Aさん



Bさん



Cさん



Dさん



Eさん

5人の外国語主任さん

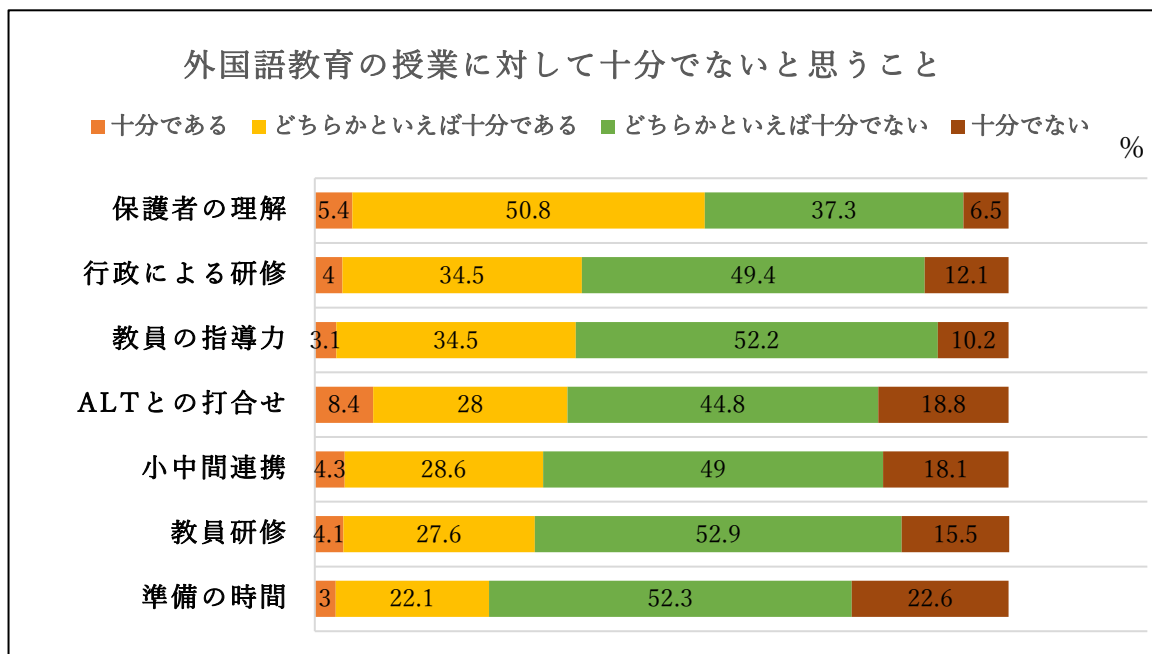
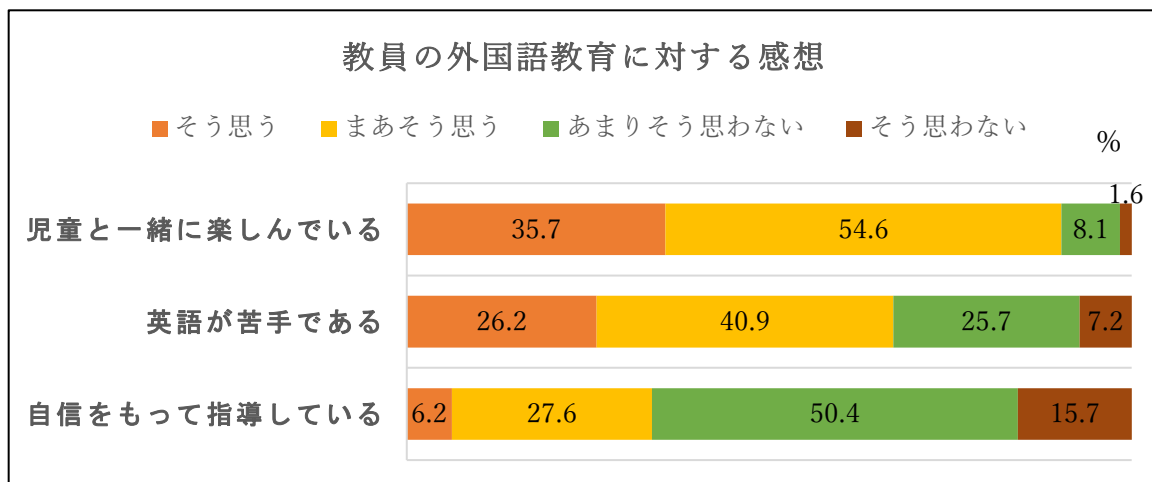
私がアドバイス
します!



アドバイザーSさん

はじめに 小学校外国語教育の課題は？

平成 29 年 国立教育政策研究所「小学校英語教育に関する調査研究」結果より



- 先生方は英語の授業は楽しんでいるが指導力・英語力に不安感
- 教員研修は十分とは言えない状況
- 授業準備の時間が不足
- 中学校や ALT、保護者との連携が不足

いろいろな課題があって大変だなあ。

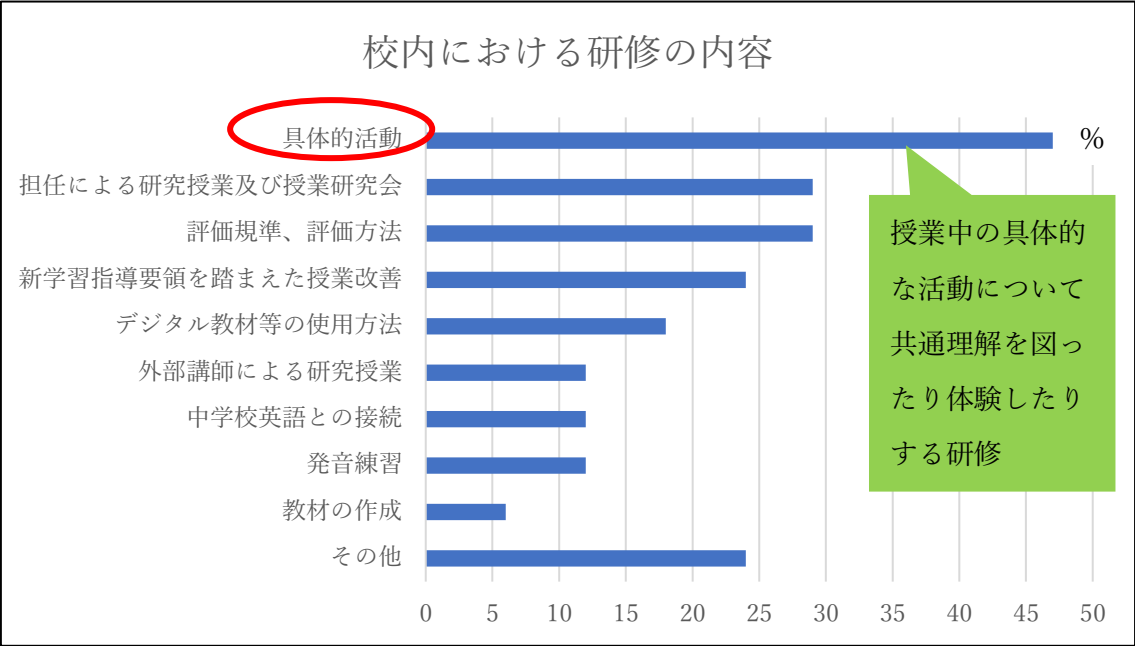
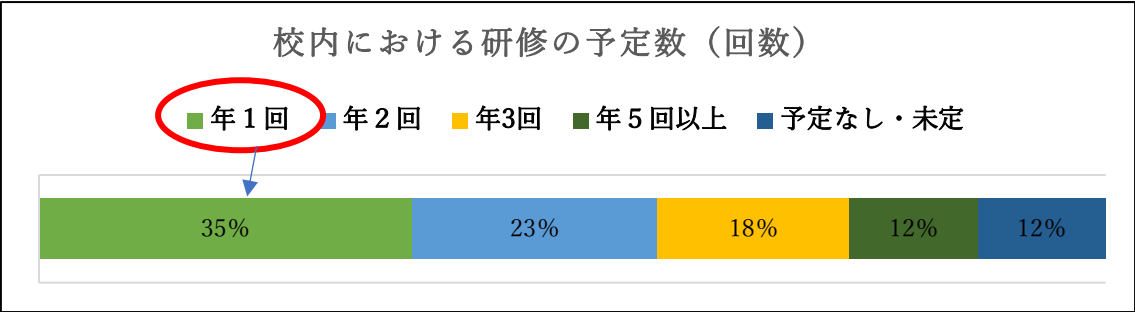


外国語主任 A さん

校内における研修の**実際**

校内における研修は、実際にはどのように行われているのでしょうか。

平成 30 年 群馬県教育研究会小学校外国語活動部会理事教諭対象アンケート結果より



<結果から分かる現状>

- 多くの学校が年に1～2回の研修を行っている。
- 指導力向上のための具体的活動や授業研究、評価についての研修が多い。

研修の回数は限られているのか・・・
即効性のある研修が人気なのかな？



外国語主任 A さん

校内における研修のメリット

先生方の抱える課題や校内における研修の実態が分かってきました。ここで、外国語指導に関わる様々な課題を、角度を変えて考えてみることにしましょう。

課題や心配	解決の糸口
教員の指導力・英語力 (外国語を教える自信がない)	教えてくれる人や情報について知り、頼れる人には頼り、使えるものは使いましょう (外国語の指導にたけている人、分かりやすくまとめられた動画などを上手に活用し、研修を進めましょう)
指導方法・指導内容 (何をどう教えたらよいのか分からない)	
評価の方法・内容 (児童の変容をどう評価するのか分からない)	パフォーマンステストなど、新しい方法にも挑戦しましょう (まだみんな手探り状態、協力しながら研修しましょう)
教材・教具 (何を、どう使えばよいのか分からない)	既存のものを、有効に使いましょう (デジタルからアナログまで探してみましょう)
指導計画 (単元の配列、指導の流れが分からない)	ほとんどのものは、サンプルがあります (アイデアを出し合いながら自校のものに変えていきましょう)
その他・設備の改善、維持 (英語ルームをいつどう整備するか分からない)	担当者だけでやらないことが大切です (先生方みんなで整備するのも研修の一環と考えましょう)



アドバイザーSさん

課題の解決は研修から！

学校は毎年メンバーが入れ替わる場所です。そのため、学校の体制が確立するまでには、時間がかかります。また、教職員の多忙化解消のためにも、これからは**校内で研修を設定することが重要**であり、意図的・計画的な実施が望まれます。研修を企画・運営する外国語主任にとっても、研修を受ける側の先生方にとっても、Win-Winの関係になる研修を目指して実施していきましょう。

研修をやってみよう！

外国語主任Aさん



第Ⅰ章

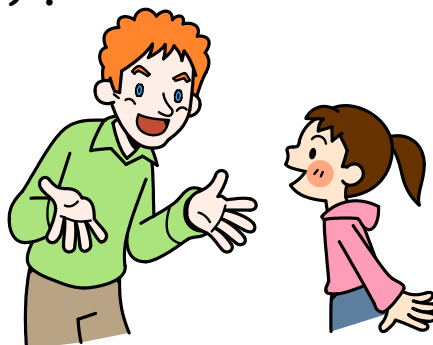
外国語教育に関わる 校内における研修編

まずは

文部科学省『**小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック**』

(以下、『**研修ガイドブック**』)

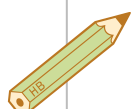
を準備して、研修の進め方を確認しましょう！



1. 小学校外国語主任チェック

校内における研修を行うに当たり、ご自身や学校の状況をチェックしてみましょう。

次の六つの質問に、**Yes と答える数**を数えた上で、
その数を参考にしてコースを選んでみましょう。



1. あなたの学校では、これまで外国語教育に関する校内における研修が計画的に実施されてきましたか。

Yes or No

2. あなたは、よりよい研修を実施するために、新しい方法や技術について知りたいと思いますか。

Yes or No

3. あなたは、スキルアップのために、英語力や指導力を高める研修や学習会などに進んで参加していますか。

Yes or No

4. あなたの学校では、ALT や 中学校教員などの外部人材の活用が円滑に行われていると思いますか。

Yes or No

5. あなたは、新学習指導要領の内容や、外国語教育の早期化・教科化について概要を理解していますか。

Yes or No

6. あなたは、小学校外国語教育に関する情報が校内の先生方に周知されていると思いますか。

Yes or No

二つのコースを用意しました！詳しくは右ページをご参照ください。



Yes が 0～3 ➡

ビギナーコース

Yes が 4～6 ➡

ステップアップコース

学級担任が授業を担当している学校の場合



まずは基本的な研修の進め方を知りたい！

ビギナーコース



- ・第Ⅰ章 3「ビギナーコース・研修編」を参考に、研修を進めてください。
- ・「校内における研修の企画・運営」に関する基本的な情報を紹介しています。

このような先生向けのコースです

- 研修の企画・運営に少し不安がある方
 - 若手教員や専門外の方
 - 外国語主任としての経験が少ない方
- 等



今までの研修をもっと進化させたい！

ステップアップコース



- ・第Ⅰ章 4「ステップアップコース・研修編」を参考に、研修を進めてください。
- ・ビギナーコースとは 別の情報も掲載していますので、ビギナーコース のページも参照してください。

このような先生向けのコースです

- 研修の企画・運営の経験が豊富な方
 - 中・高の外国語指導免許をお持ちの方
 - 何らか外国語主任を経験されている方
- 等



学級担任が授業を担当していない学校の場合

授業に関わらない先生にも、研修に参加してほしい！

チャレンジコース

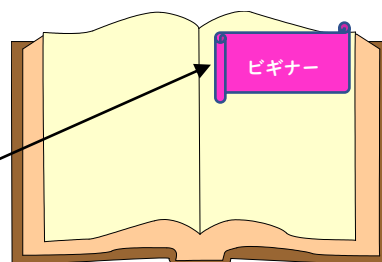


- ・第Ⅰ章 5「チャレンジコース・研修編」を参考に、研修を進めてください。
- ・管理職の先生や研修主任と相談し、可能な範囲で校内における研修を進めることが大切です。実際に授業に関わる方だけでなく、全職員が取り組めるような研修を進めてください。

このような学校事情の場合です

- 専科教員で、校内全ての授業を担当
- 中学校教員など外部から来た先生が校内全ての授業を担当 など

本冊子のページ右上にあるマークを確認の上、活用の参考にしてください。



サポートマニュアル

2. 研修に係る年間業務リスト例

二つのプランを用意しました。アンケートなどにより、各学校で研修の回数を選びましょう。

A: 年2回研修プラン

実施時期	内容	本冊子 参照ページ ●その他の参照
4月上旬	★外国語教育に関する校内における研修の進め方の概要を理解	●『研修ガイドブック』 (研修指導者編)
	★管理職・研修主任と校内における研修について協議	p 34
4月下旬	★教職員アンケートを作成、実施	p 11
	★教職員アンケートの分析、研修内容、回数、時期を決定	p 49
5月	★教職員へ『外国語活動に係る校内における研修計画』を配付	p 49 ●『研修ガイドブック』 p 168
	★外部講師を招く場合は、講師依頼	p 36～
6～7月	★研修1に係る資料準備	p 12,13
	★研修1の参加者に、資料やレジュメ等配付	
8月	◎研修1の実施 (じっくり研修)	p 16、20
	★研修1の振り返り(評価)	p 14
10月	★研修2に係る資料準備	p 12,13
	★研修2の参加者に、資料やレジュメ等配付	
11月ごろ	◎研修2の実施 (短時間研修)	p 15、 19、22
12月	★研修2の振り返り(評価)	p 14
2～3月	今年度の成果と課題のまとめ 次年度への引き継ぎ準備	

B: 年3回研修プラン

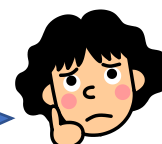
実施時期	内容	本冊子 参照ページ ●その他の参照
4月上旬	★外国語教育に関する校内における研修の進め方の概要を理解	●『研修ガイドブック』 (研修指導者編)
	★管理職・研修主任と校内における研修について協議	p 34
4月下旬	★教職員アンケートを作成、実施	p 11
	★教職員アンケートの分析、研修内容、回数、時期を決定	p 49
5月	★教職員へ『外国語活動に係る校内における研修計画』を配付	p 49 ●『研修ガイドブック』 p 168
	★外部講師を招く場合は、講師依頼	p 36～
	★研修1に係る資料準備 ★研修1の参加者に、資料やレジュメ等配付	p 12,13
	◎研修1の実施 (短時間研修)	p 15、 19、22
6月	★研修1の振り返り(評価) ★研修2に係る資料準備	p 14
7月	★研修2の参加者に、資料やレジュメ等配付	p 12,13
8月ごろ	◎研修2の実施 (じっくり研修)	p 16、20
	★研修2の振り返り(評価)	p 14
10月	★研修3に係る資料準備	p 12,13
	★研修3の参加者に、資料やレジュメ等配付	
11月ごろ	◎研修3の実施 (短時間研修)	p 15、 19、22
	★研修3の振り返り(評価)	p 14
2～3月	今年度の成果と課題のまとめ 次年度への引き継ぎ準備	

最終的な研修の内容や回数の決定は、外国語部会(p 35 参照)で行うとよいでしょう。

3. ビギナーコース・研修編

(1) はじめのQ & A

Q: 研修を企画するに当たり、どんな手順で進めていけばよいですか？



外国語主任Bさん



アドバイザーSさん

A: まずは、**先生方にアンケート**を取って、先生方がどんな研修を望んでいるか把握しましょう。その結果から、**研修の回数や研修の時間を設定し、研修の内容を吟味**していきましょう。

アンケート、研修の精選、資料などがそろっているパッケージプランがWeb上で紹介されていますので、是非活用してください。
(本マニュアルでは「福岡県教育センター」のものを紹介しています。)

参考Web

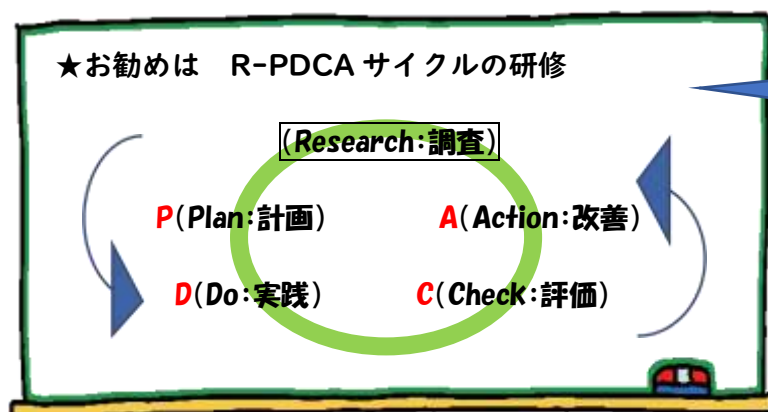
「小学校英語教育における教科化の実践に向けた校内研修プラン」福岡県教育センター（H29）

外国語主任が準備することは、ほぼ「ダウンロード」だけです。各学校の実態に応じた内容を選んで簡単に研修を企画・運営できるプランです。研修の資料づくりが大変、という先生にお勧めです。

URL http://www.educ.pref.fukuoka.jp/one_html3/pub/default.aspx?c_id=481

R-PDCA サイクルの研修を（R 調査→P 計画）

外国語教育に関する校内における研修の回数や時間には限りがあります。少ない回数でも、短い研修時間でも充実した研修にするためには、まず先生方のニーズを把握し、「その内容であれば参加したい」と思ってもらえるようにデザインしましょう。



まずは調査（アンケート）から始めましょう！



研修前アンケートの例
→第三章・資料編 p 49

(2) 研修前のQ & A

Q: 研修前に具体的にどんな準備が必要でしょうか。



外国語主任Bさん



アドバイザーSさん

A: 研修の前に下の「チェックリスト」で確認し、不十分なものがあれば、他の先生方に協力を依頼してみましょう。準備を始める時期などは「年間業務リスト」(p10)も併せて参考にしてください。

指導力・英語力向上研修 チェックリスト

- ☐ 管理職、研修主任との打合せ
- ☐ 日時の決定
- ☐ 研修の進め方(簡単な進行表)の作成
- ☐ 場所の確保
- ☐ 講師依頼(必要に応じて)

ここまで終了したら

※研修計画書を作成・配付

- ☐ 資料・レジュメ等準備
- ☐ 道具や機器等の準備
- ☐ 記録用の機材準備
- ☐ 研修場所の確認
- ☐ 事後アンケート作成
- ☐ 最終確認

事前に資料をよく読み、
内容を理解しておきましょう

授業研究が中心の研修 チェックリスト

- ☐ 管理職、研修主任との打合せ
- ☐ 実施クラスの決定
- ☐ 日時・場所等の決定
- ☐ 研修の進め方(簡単な進行表)の作成
- ☐ 指導案の様式や指導案例の提供

ここまで終了したら

※研修計画書を作成・配付

- ☐ 資料・レジュメ等準備
- ☐ 道具や機器等の準備
- ☐ 参観記録用紙の作成
- ☐ 記録用の機材準備
- ☐ 指導案の配付
- ☐ 研修場所の確認
- ☐ 事後アンケート作成
- ☐ 最終確認

事前に資料をよく読み、
内容を理解しておきましょう

連携しましょう

研修主任、情報主任
外国語部会の先生

参考文献

『研修ガイドブック』研修指導者編 3(5)外国語教育に係る校内研修計画例 p168

様式あり

「研修計画書」の例 → 第III章・資料編 p49

(3) 研修方法のQ & A

Q: 積極的な研修への取組を促すためには、どんな研修方法がよいですか。



外国語主任Bさん

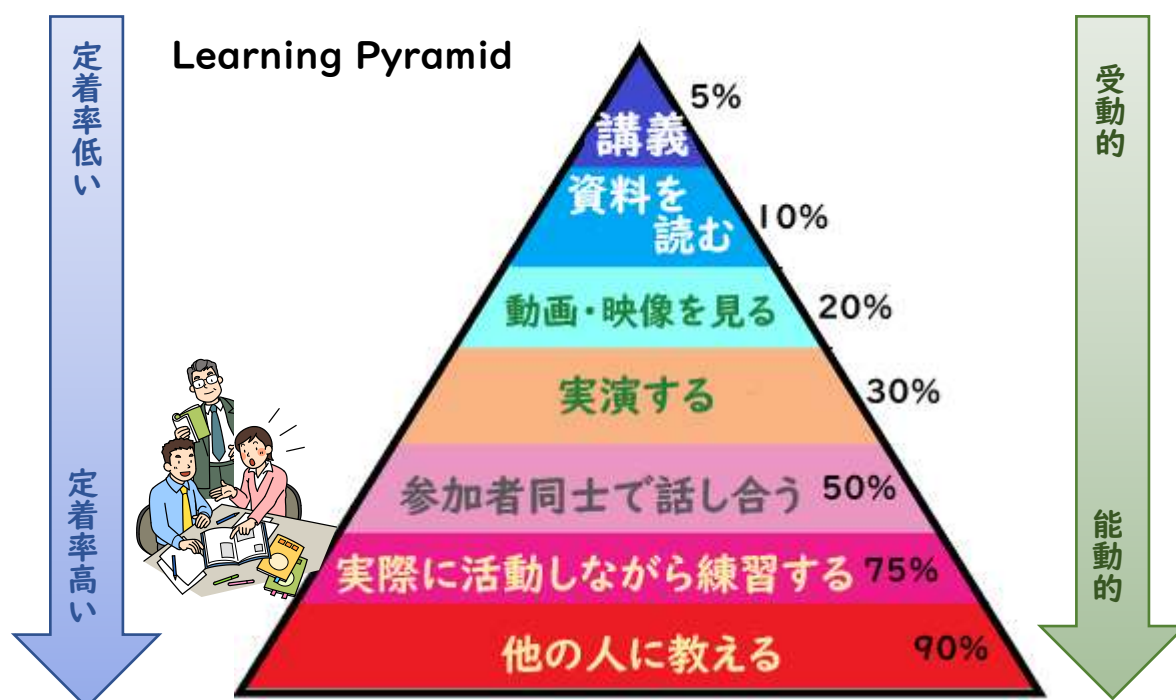


アドバイザーSさん

A: 校内研修の進め方として、**演習や体験を通して練習する研修**がお勧めです。話合いや協議であれば、「KJ法」「マトリクス法」「概念化シート法」などの**全先生方が参加できるワークショップ型研修**がよいでしょう。講義だけではなく、先生方が能動的に関われる場面を作ってください。

なぜ参加・体験型の研修がよいのか？

「ラーニング・ピラミッド」をご存じですか？最近いろいろな研修等で紹介されています。これは学習定着率を表したもので、学習者が能動的に学ぶことが大切だということを示しています。この考え方を、校内における先生方の研修に当てはめると、やはり一方的に話を聞くだけでなく、実際に取り組んでみる、別の人に説明してみるなどの参加・体験型の研修の方が効果的であると言えるのではないのでしょうか。



(出典 アメリカ国立訓練研究所 National Training Laboratories)

(4) 研修後のQ & A

Q: 研修が終わったら何をすればよいのでしょうか。



外国語主任Bさん



アドバイザーSさん

A: 先生方には、アンケートに回答してもらったり、感想を書いてもらったりして、**研修の振り返り**ができるとよいですね。「外国語だより」に成果と課題をまとめてみるのもよいでしょう。また、研修で学んだことを次の研修のときに再度確認して、**学びが定着するようにすること**も大切です。

R-PDCA サイクルの研修を (C 評価→A 改善)

研修の振り返りのポイント

- ★アンケートを実施する場合は、簡単な形式のものにする。
- ★研修前に用意しておく。
- ★講師を依頼した場合は、講師の方にもアンケートのまとめを渡す。
- ★アンケートの集計結果は、次の研修に生かせるように整理・分析する。
- ★研修中の写真や協議の記録などは「おたより」形式で配付したり掲示したりする。
- ☆アンケートが難しければ、付箋紙(2色)を用意して、「感想」と「次の研修に対する要望」を簡単に記入してもらう。

資料

「外国語だより」の例
→第III章・資料編 p 48

外国語教育に関する研修後アンケート (例)

研修にご参加いただき、ありがとうございました。

今回の研修を振り返っていただき、以下の質問にお答えいただければと思います。

先生方からいただいたご回答を、次の研修に生かしていきたいと思っています。よろしく願いたします。

※1～4の質問は一つに○を付けてください。

記入日: 年 月 日	
1	今回の研修の実施時期について ちょうどよい ・ 早い ・ 遅い ・ その他 ()
2	今回の研修の時間について ちょうどよい ・ 短い ・ 長い ・ その他 ()
3	今回の研修内容について 大変役立った ・ 役立った ・ あまり役立たなかった ・ 役立たなかった
4	3の質問で「大変役立った」「役立った」を選んだ方は、その理由について該当するものを選んでください。(いくつでも可) ア 講師がよかった イ 配付資料がよかった ウ 研修形態がよかった エ 研修内容が、スキルアップにつながった オ その他 ()
5	今回の研修で、具体的な改善点がありましたらご記入ください。
6	現在抱えている課題、今後取り入れてほしい研修内容がありましたらご記入ください。

(5) 短時間研修 (20~40 分) の例



職員アンケートにより

- ①先生方が**短めの研修**を希望
- ②内容は「**デジタル教材の使い方&教室英語**」を希望
- ③**情報主任**と連携した、**講義・演習型**研修を行う場合

ADVICE

教員間で振り返りができる
よう工夫しましょう！

	活動	参加教職員の活動内容	活用可能な資料の例
1	Warm-Up 英語の歌	文部科学省のデジタル教材に含まれている歌を全員で歌う。実際に主任がデジタル教材を使用する場面を見て確認する。	♪The Rainbow Song →Let's Try! 1 Unit 4 ♪Sunday, Monday, Tuesday →We Can! 1 Unit3 などの曲
2	研修の内容とねらい、 進め方などを伝える	ねらい：デジタル教材の使用体験をし、 効果的な使用方法を知る。	
3	講義 「デジタル教材の 活用の仕方について」	【例】群馬県教育委員会・群馬県総合教育センター 「平成28年度版群馬県小学校英語教育カリキュラム短時間学習案」 (各学校配付データ資料)を活用する場合 2：オリジナル視聴覚教材 ■3年生 → 3-04「ミックスジュースを作ろう」など	プレゼン テーション 資料あり
4	演習 「デジタル教材の使 用体験&教室英語の 練習」	◎新教材や教科書のデジタル教材を実際に 使いながら、授業中の一連の活動をする 体験を参加者が交代で行う。 ・パソコンから大型スクリーンやテレビ などに教材を映す。 ・映像などを見せるときに使用する教室 英語を練習する。 ・児童の実態に合わせて、何度も止めたり 繰り返し聞かせたりする練習をする。 など	例 文部科学省 「Let's Try! 2」Unit3 Let's Watch and Think I Unit4 Let's Watch and Think2 ★デジタル教材がどのようなものか確認できる 「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」 実習編 1：クラスルーム・イングリッシュ p121 児童への指示 (CLASS CONTROL) に、実際の 英語表現例があります。資料として配付するのも よいでしょう。
5	質疑応答・振り返り	研修を振り返り、アンケートに答える。	※研修後アンケート (例は本冊子 p 14参照)

◎アレンジも可能！

- ・担当する学年ごとに集まり、該当学年の視聴覚教材を閲覧し、どのような場面で使えるか話し合う。
- ・研修で扱った教室英語を、職員会議の開始時などミニ研修として繰り返し練習する。
- ・デジタル教材を用いた授業を校内（学年間）で見せ合う。 など

(6)じっくり研修(60分)の例



職員アンケートにより

- ①先生方が**じっくり研修**を希望
- ②内容は「**Small Talk**の理解と演習」を希望
- ③**ALT**と連携した、**講義・演習型**研修を行う場合

ADVICE

5年生と6年生の違いが分かるようにしましょう!

	活動	参加教職員の活動内容	活用可能な資料の例
1	Warm-Up 英語の挨拶	参加者同士で英語で挨拶を行う。 (工夫例:「挨拶+質問一つ」の形で、アイ・コンタクトや表情を意識して天気や曜日等何か相手に質問する)	
2	研修の内容とねらい、 進め方などを伝える	ねらい:高学年対象のスモール・トークの意義や進め方を理解するとともに、実際に練習をする。	
3	講義 「外国語科における スモール・トーク」	【例】 平成27, 28, 29年度 福岡県教育センター調査研究 外国語教育チーム 「小学校英語教育における教科化の実践に向けた校内研修プラン」 を活用する場合 F:外国語科の授業づくり 概論6:外国語科におけるスモール・トーク URL www.educ.pref.fukuoka.jp/one_html3/pub/default.aspx?c_id=481 から「校内研修プラン」へ	
4	演習 「Small Talkの練習」	◎ALTの話を聞き、児童役になってその内容を理解したり、ALTの質問に答えたりする。大体内容を理解できたら参加者が交代でALT役になって英語を話したり児童に質問したりする。(5年生向け) ◎外国語主任(T1)とALTの対話を聞き、児童役になってその内容を理解するとともに、実際に同じ対話を参加者同士で行う。時間があれば、参加者がT1になってスモール・トークのモデルをする。(6年生向け)	例 文部科学省動画サイト mextchannel tr.30 ~38 Small Talk 5年生 tr.39 ~47 Small Talk 6年生 など選んで視聴 <div>『研修ガイドブック』授業研究編Ⅱ 授業研究の視点⑤ Small Talk p84 実習編 3: Small Talk p130-134 にも資料があります。</div>
5	質疑応答・振り返り	研修を振り返り、アンケートに答える。	※研修後アンケート (例は本冊子 p14 参照)

◎演習では、全員の先生が体験できるように工夫を

児童役、指導者役、ALT役などいろいろな立場で体験してもらおうと理解が深まるでしょう。
参加者が多い場合は、グループにするなどの配慮をしましょう。

4. ステップアップコース・研修編

(1) 研修前のQ & A

Q: 研修が何となくマンネリ化してきた気がするのですが・・・。



外国語主任Cさん



アドバイザーSさん

A: 授業研究だけでなく、**外部講師を招いての研修**（講義、演習、ワークショップ型）、**ICT 機器を用いての研修**など、校内における研修にも変化を付けましょう。特に、**動画を活用した研修教材**が充実しています。先生方と**共同作業**を試みるのもよいですね。

いろいろな研修を取り入れてみましょう

外部講師を招いて

★研修に適した外部講師を選んで依頼

【参照】第II章3. 「ひと」との連携

(4) 外部人材との連携を参照

p36～



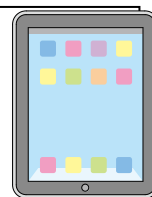
ICT 機器を用いて

★Web サイトの視聴

★デジタル教材、タブレット PC、英語学習アプリ等の使用体験

【参照】第II章4. 「もの」の活用

(3) 授業づくり支援のための情報提供 p41



動画を活用して

★「校内研修シリーズ・動画研修教材」 独立行政法人 教職員支援機構

「新学習指導要領を具現化した新教材の解説」(約24分)

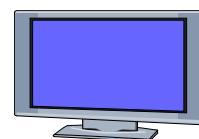
「新小学校指導要領における外国語活動及び、外国語科の指導の在り方の要点」(約30分) など

★「mextchannel」文部科学省の動画サイト

発音トレーニング、基本英会話、Small Talk、クラスルーム・イングリッシュなど

★「群馬県小学校英語教育カリキュラム案」平成27、28年度版 群馬県教育委員会・群馬県総合教育センター

実際の中学年・高学年の授業場面を動画で見ることができます。



共同作業を中心にした研修の例

★先生方の英語による自己紹介ビデオ作成、インタビュー場面の撮影、地域内の建物や場所の撮影

★フラッシュカードや絵カード、紙芝居、ペープサート、「〇〇小英語すごろく」、掲示物、ポスターなど教材や教具の作成

★プレゼンテーションソフト活用資料(スライド)、ワークシート等の作成

(2) 研修後のQ & A

Q: せっかくよい研修ができたので、研修の成果を持続させていきたいのですが・・・。



外国語主任Cさん



アドバイザーSさん

A: 成果が見られた研修が実施できたら、なぜうまくいったのかをきちんと分析（評価）することで更に充実した研修となります。

研修で得られた成果を持続させる工夫としては、**研修で使用した資料を共有**したり、**ネットワーク内の掲示板などを利用して情報提供**を続けたりしてみましょう。**10分間の英会話レッスン**で英語力が少しずつ高まるようなミニ研修の提案にも取り組んでみましょう。

研修資料の共有（いつでも見られる）

研修で使用した資料は、職員の共有フォルダなどに保存し、いつでも閲覧・活用できるようにしましょう。誰が外国語主任になっても簡単に見付けられるようにしておくことが大切です。デジタル以外の資料や教材は、場所を決めて整理して保管しましょう。

こまめに情報を発信（ときどき受信）

外国語だより（本冊子p48）のように、情報がまとまり切らなくても先生方に知らせたい情報が少しでもあれば、ネットワーク内の掲示板や職員室・印刷室など先生方の目に付く場所を借りて、「今日の英語表現」や「おすすめ Web サイト」などを紹介してもよいでしょう。また、先生方から「こんな教材を購入してほしい」「こういう人材を活用したい」という要望や「授業でこんな工夫をしたらうまくいった」などの意見がもらえるように、情報を発信するだけでなく受信できる環境も整えられるとよいでしょう。

ミニ研修の提案（定期的・継続的な研修）

定着のためには短くても続けることが大切！

- 職員会議、校内研修の冒頭10分で「教室英語練習」
- ALT 訪問日に放課後10分の「英会話レッスン」
- 曜日を決め、研修で学んだことを放課後10分で「復習」



(3) 短時間研修(20～40分)の例






職員アンケートにより

- ①先生方が**短めの研修**を希望
 ②内容は「『読む・書く』活動の**進め方**」を希望
 ③講師は依頼せず、**主任が進める講義・演習型研修**を行う場合

ADVICE

「書く」活動の体験では4線入りのものを使いましょう！

活動	参加教職員の活動内容	活用可能な資料の例
1 Warm-Up 英語のジングル体験	We Can! 1 又は 2 のデジタル教材に入っているJingleを体験し、Jingleに対する理解を深める。	例 文部科学省 We Can! 1 又は2の中から Alphabet Jingle, Animals Jingle, Countries Jingle, Foods Jingle 
2 研修の内容とねらい、 進め方などを伝える	ねらい：「読む」「書く」活動の留意点を理解し、実際に活動を体験する。	
3 講義 「読む・書く活動について理解しよう」	<p>【例】平成27, 28, 29年度 福岡県教育センター調査研究 外国語教育チーム 「小学校英語教育における教科化の実践に向けた校内研修プラン」を活用する場合</p> <p>F：外国語科の授業づくり 実践6：外国語科における読む・書く活動を体験しよう</p> <p>URL www.educ.pref.fukuoka.jp/one_html3/pub/default.aspx?c_id=481 から 「校内研修プラン」へ</p>	 
4 演習 「読む・書く活動を体験しよう」	<p>◎アルファベットや単語を読む体験、相手に伝えるなどの目的をもってアルファベットや単語をなぞり書き・写し書きをする体験を通して、児童に指導する際の留意点を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いて、読む・書く活動の体験をする。 ・4線が印刷された画用紙を用いて、誕生日カードを作成する体験をする。 (ペアで誕生日や好きなものやほしいものを尋ね合い、相手に喜ばれるカードを作成する活動) 	<p>例①群馬県教育委員会・群馬県総合教育センター 「H27群馬県小学校英語教育カリキュラム短時間学習案」 ★アルファベットを読んだりなぞり書きしたりできるワークシート例</p> <p>1. カリキュラム案 ■ 3・4年生カリキュラム 4年生 01：35時間対応カリキュラム 4-02 アルファベットに親しもう 04：単元の資料</p> <p>例②文部科学省 「We Can! 1」Unit2 Activity 2 ★十分に慣れ親しんだ語や表現を写し書きする活動</p>
5 質疑応答・振り返り	研修を振り返り、アンケートに答える。	※研修後アンケート (例は本冊子 p14参照)

ポイントは「どこまでを求めるのか」を共通理解すること！

教科化に伴い導入される「読む」「書く」活動は、指導者間の意識や理解度により差が出てしまうことが懸念されます。目的もなく同じ単語を繰り返し読ませたり書かせたりして覚えさせることは厳禁です。先生方に実際に体験してもらい、十分に慣れ親しんだことについて「目的をもって読む・書く」ことが大切だということを理解してもらえるようにしましょう。

(4) じっくり研修(60～70分)の例

ADVICE

中学年から高学年へのつながりが分かるようにしましょう！



主に
中学
年



主に
高学
年

職員アンケートにより、先生方が

- ① **じっくり研修**を希望
- ② 内容は「**中学年・高学年の授業づくり**」を希望
- ③ 講師は依頼せず、**主任が進める講義・協議中心の研修**を行う場合

	活動	参加教職員の活動内容	活用可能な資料の例
1	Warm-Up 英語のチャンツ体験	Let's Try!等のデジタル教材に入っているチャンツを体験し、チャンツに対する理解を深める。	例 文部科学省 Let' Try! 1 又は 2 We Can! 1 又は 2 (中学年から一つ、高学年から一つ体験できるとよい)
2	研修の内容とねらい、進め方などを伝える	ねらい：中学年・高学年の授業の実際を知り、授業づくりのポイントを理解する。	
3	実際の授業の流れを理解(動画視聴) 「中学年・高学年の実践」	◎動画を視聴し、付箋紙にメモを取る。 (付箋紙の色分け) 青：実際に自分が授業を行う上で参考にしたいと感じた場面や、よかったところ ピンク：同じように実践するのが難しそうな場面や課題	例①群馬県教育委員会・群馬県総合教育センター 「H27群馬県小学校英語教育カリキュラム案」 ★それぞれ約20分間の動画、解説字幕付き ★必要な部分だけ見ることも可能 4. 研修用映像資料Ⅰ＜拠点校実践風景＞ 中学年・高学年 例②他校の教員などによる授業の様子(ビデオ)など
4	協議「中学年・高学年の授業づくりについて」	◎3～4人のグループになり、付箋紙メモを用いて意見交換をする。 (KJ法や概念化シート法など、先生方が取り組みやすい方法で) ◎各グループで発表し合う。	課題については、改善策まで話し合うようにしましょう。
5	質疑応答・振り返り	研修を振り返り、アンケートに答える。	※研修後アンケート(例は本冊子p14参照)

先進校の実践を「100%完璧なモデル」と捉えない！

優れた実践であっても、自分の学校の児童に合わないものはそのまま取り入れることはできません。自校の実態を踏まえ、「本校で実践するならば別の方法がよいのでは」という視点で先進校の実践を見ることで、いろいろなアイデアが生まれてきます。動画やビデオを視聴する際には、事前に視点を決めておくとういでしょう。

5. チャレンジコース・研修編

(1) 研修のQ & A

Q: 授業は専科教員や中学校教員が主に進めているので、他の先生方はあまり研修に対して関心がないように感じられます。外国語教育に係る研修はどのように進めればよいでしょうか。



外国語主任Dさん

A: 「授業に関わらない」となると、先生方のモチベーションも上がりにくいかもしれません。しかし、全ての学校で専科教員や中学校教員が外国語活動や外国語科の授業を行っているわけではありません。外国語教育に関してある程度の知識や技術は、全員の先生に必要です。まず、**自分の学校の英語教育に課題意識をもってもらう研修や、気軽に参加できる実習型の研修**に取り組んでみましょう。



アドバイザーSさん

みんなで必要感を感じられる研修に！

学校によっては、授業を担当する先生が課題を抱えてしまう可能性もあります。その課題は、専門性を要する場合だけでなく、いろいろなものの見方（教科横断的な視点）で解決できる課題かもしれません。そこで「外国語教育を更に進めていくためには、どうすればよいか」「自校の外国語指導の問題点は何か」などの研修課題に対して、ワークショップ形式で広く解決策を探る研修などはいかがでしょうか。

例えば・・・



外国語主任Dさん

授業のない日でも、もっと英語に触れてほしいのですが・・・



学級担任

帰りの会で英語の歌を歌ってもらうのはどうですか。



学年主任

総合的な学習の時間で予定している活動に、英語を関連付けることもできそうです。



管理職の先生

朝礼で英語を勉強する目的について話してみよう。

(2) 短時間研修 (20～40分) の例



職員アンケートにより、

①先生方が**短めの研修**を希望

②内容は「**目的に応じた英語のゲーム活動の進め方**」を希望

③講師として**外部講師を招聘**して行う**講義・体験型研修**の場合

ADVICE

ゲーム活動がゴールではないことを理解してもらいましょう！

【注意】 資料を学校で用意するのか、外部講師にお願いするか、事前に明確にしておく。

	活動	参加教職員の活動内容	活用可能な資料の例
1	講師紹介	講師の挨拶を聞く。	
2	Warm-Up	英語の歌	講師が紹介する歌を歌う。 例 文部科学省 Let's Try! 1 又は2の中から The Rainbow Song, ABC Song など
		絵本の読み聞かせ	講師が絵本を読むのを聞く。 例 文部科学省 Let's Try! 1 又は2の中から Who are you?, This is my day. 1 など
3	研修の内容とねらい、進め方などを伝える	ねらい：ゲーム的活動の進め方や留意点を理解し、実際に活動を体験する。	
4	講義 「目的に応じたゲーム活動の取り入れ方」	【例】平成27, 28, 29年度 福岡県教育センター調査研究 外国語教育チーム 「 小学校英語教育における教科化の実践に向けた校内研修プラン 」を活用する場合 E：外国語活動の授業づくり 実践6：目的に応じたゲームを体験しよう より資料検索 URL www.educ.pref.fukuoka.jp/one_html3/pub/default.aspx?c_id=481 から「校内研修プラン」へ	プレゼンテーション資料あり 動画資料あり
5	実習 「ゲーム的活動」	目的に応じたゲームを体験し、単に楽しむだけの活動にならないような留意点などについて講師から説明を受け、体験する。	時間があれば、参加者に児童役だけでなく指導者役にも挑戦してもらいましょう。
6	質疑応答、感想の伝え合い	講師に何か質問があれば質問したり、参加者同士で感想を伝え合ったりする。	
7	振り返り	研修を振り返り、アンケートに答える。	※研修後アンケート（例は本冊子 p14 参照）

他教科や特別活動でも使える可能性！

英語の授業で行われるゲームは、道具や方法を少し変えれば他の教科でも使えるようなものもあります。また、児童にとってルールが簡単で取り組みやすいものが多いので、朝行事、児童会活動、他学年との交流などでも使えるかもしれません。

ゲームの種類

- ミッシング・ゲーム
- ポインティング・ゲーム
- キーワード・ゲーム
- マッチング・ゲーム
- インタビュー・ゲーム
- etc.

資料

その他の研修例

短時間

内容

ALT との打合せ
の仕方

全学年

研修時間：20～30分程度

活用資料：『はばたく群馬の指導プラン（実践の手引き）』p122
『研修ガイドブック』p124～

講師：外国語主任（+ALT など）

流れ：①ウォームアップ
②打合せのポイントを確認
③打合せに必要な英語表現の練習
④質疑応答、振り返り

内容

1時間の授業設計
の仕方

高学年

中学年

研修時間：30～40分程度

活用資料：『研修ガイドブック』

外国語活動（中学年） → p 38～授業構成について

外国語科（高学年） → p 64～授業構成上の留意点

※『はばたく群馬の指導プランⅡ』（小学校外国語）

講師：外国語主任

流れ：①ウォームアップ
②資料を配付し、資料の内容を確認
③グループで、ある単元の中から1単位時間の設計をし、配慮したところや工夫したところも含めて発表
④質疑応答、振り返り

内容

指導力向上の
ヒントを探す

全学年

研修時間：40分程度

活用資料：『えいごネット』Web ページ

講師：外国語主任（+情報主任など）

流れ：①ウォームアップ
②「えいごネット」の紹介と活用例の説明
③各自視聴、活用できそうな資料の検索
④情報の共有、質疑応答、振り返り

内容

パフォーマンス
評価を知る

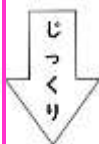
高学年

研修時間：40分程度

活用資料：本校又は近隣の中学校の CAN-DO リスト、近隣の中学校で行われているパフォーマンス評価の資料等

講師：外国語主任（+中学校教員、外部講師など）

流れ：①ウォームアップ
②パフォーマンス評価についての概要説明
③グループでパフォーマンス課題やルーブリック（基準）について考える活動
④情報の共有、質疑応答、振り返り

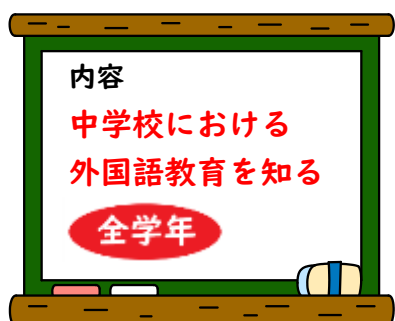


研修時間：60～70 分程度

活用資料：『mextchannel』 Web ページ 文部科学省動画資料
「日本の外国語教育は変わる！」シリーズ

→必要な部分だけ視聴

- 講師：外国語主任（＋外部講師など）
- 流れ：①ウォームアップ
②動画視聴
③今後の外国語教育に関わる情報の提供
④グループで感想や今後の取組の提案などについて話し合い
⑤質疑応答、振り返り

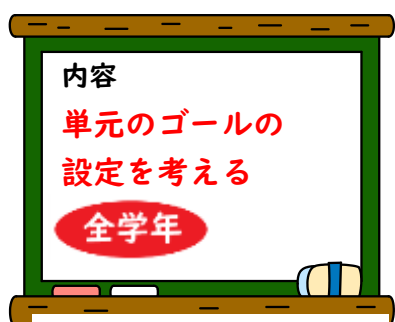


研修時間：60～70 分程度

活用資料：『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』
付録6、7、8（学校段階別一覧表）

『平成28年度版群馬県小学校英語教育カリキュラム短時間学習案』より5. 研修用映像資料Ⅱ《中学校授業・活動解説》 など

- 講師：外国語主任（＋中学校教員など）
- 流れ：①ウォームアップ
②小学校から中学校への目標や言語材料、言語活動例のステップアップについての理解
③中学校における外国語教育の実践（中学校教科書やワークシート等の閲覧、授業場面のビデオ視聴など）
④意見交換、質疑応答、振り返り



研修時間：60～70 分程度

活用資料：『研修ガイドブック』p176

4 授業改善の視点→**2** 単元構成を工夫しよう！
『はばたく群馬の指導プランⅡ』（小学校外国語）

- 講師：外国語主任（＋外部講師など）
- 流れ：①ウォームアップ
②単元のゴールとしてのコミュニケーション活動を設定する意義について理解する
③グループで We Can! などの一単元の単元構成についてゴールの活動から遡って設計し、発表
④意見交換、質疑応答、振り返り

バックワードデザイン（逆向き設計）の単元づくりですね！

（注）活用資料は一例です。ご自身で使いやすいものをご準備ください。

研修のキーワードを入力して検索するとインターネットで資料が探せます。



コラム① 校内研修が変わる！？



「研修の必要性は感じているが、時間が取れない」

「校内研修テーマや学校指定の研究など、他の研修が優先され、外国語教育に係る研修が十分にできない」

そんな悩みを抱える外国語主任さんは少なくないでしょう。業務改善の流れからも、ますます「研修をもっと頑張りましょう！」と職場で言い出しにくくなっている状況もあると思います。

そこで、「研修の時間がない」＝「研修の仕方や内容に課題がある」と考えてみませんか。管理職のリーダーシップの下、更に効率よく充実した校内研修を行うために先生方がチーム学校として従来の方法や考えから脱却する時期の到来かもしれません。

従来の校内研修と言えば

各校でテーマ・領域を決め、仮説を立て実践を通して検証していく方法

仮説検証型研修

デメリット

時代の流れ

研修の形骸化

検証までに時間がかかる など

大量退職時代、業務の効率化、

新学習指導要領 など

新たな校内研修の例

各校の中でチームを作り、チームごとに研修を進めて行く方法

資質向上型研修

即効性

必要感のある研修

教職員が幾つかのチームに分かれる

チームごとに希望する研修内容や日程等を立案し、講師を選出する

チームで研修の準備をする

研修の実施

研修の振り返りをする

このような内容の研修が可能になります！（例）

- 外国語教育に係る研修
- 応急処置の仕方
- プログラミング教育に係る研修
- 体育実技講習
- 特別支援に係る研修
- 道徳科の評価の仕方





コラム② 外国語教育に係るキーワード解説

学習指導要領の改訂により新しく提案がされたものなど、最近の小学校外国語教育に関してよく見かける言葉を集めました。

キーワード	解説
CAN-DOリスト	児童の学年末の目指す姿をイメージして作成されるリストである。。具体的な言語活動を表した記述文で、文末が「～できる」になっているものが多い。日本では、平成25年に文部科学省が指導方法や評価方法の改善のために作成をするように求め、中学校や高校で多くの学校で整備されている。文部科学省では、小学校でも作成することを勧めている。
パフォーマンス評価	ある特定の状況の下で、それまでに学んださまざまな知識や技能などを活用しながら行う行動や作られた作品を直接的に評価する方法である。中学校や高校では、ALTと一対一などで対話をして評価する「パフォーマンステスト」を定期的に行っているところが多い。
ルーブリック	パフォーマンス評価の採点に当たり必要になる基準のことである。3段階、5段階、7段階などがある。ルーブリックとは、数段階の尺度と、それぞれの尺度に対応する児童が到達することが期待されるパフォーマンスの特徴の記述によってなる評価基準を指す。誰が評価者になっても基準が定まっていれば公平に評価できるので、パフォーマンステストの「ものさし」に例えられることもある。
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方	外国語によるコミュニケーションの中で、どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのかという、物事を捉える視点や考え方であり、「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」である。
スモール・トーク Small Talk	高学年の新教材で設定されている活動であり、帯活動で指導者があるテーマについてまとまった話をするのを聞く（5年生）、またはテーマについてペアで話し合う（6年生）活動。2時間に1回程度の頻度で行うことが推奨されている。
リフレクション Reflection	「振り返り」の意味で用いられている。Looking backなどの言い方もある。活動などを通して「何を学んだか」「どう学んだか」を児童に確認させることを指す。振り返りシートには単に感想を書かせて終わり、とはならないように注意が必要になる。今後は特に中学年では「内容面」、高学年では「内容面・言語面」での振り返りが重視される。
インタラクション Interaction	「相互作用」「相互交渉」の意味だが、英語教育では互いに「やり取り」をするという意味で使われることがある。
バックワードデザイン	CAN - DOリストに基づいたゴールの達成に向けて、ゴールから逆算して単元を組み立てていくこと（逆向き設計で授業を作ること）を指す。教師と児童が共にゴールを共有し、学習への見通しをもてることで、より主体的な学びへとつながることが期待されるため、今後は是非取り入れていきたい単元設計の方法である。

出典

「小学校英語教科化への対応と実践プラン」吉田研作 2017 教育開発研究所

「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」文部科学省

「小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編」文部科学省

第Ⅱ章

外国語教育 推進体制づくり編 (連携・活用のアイデア)

誰に力を借りますか。

何に頼りますか。

一人で頑張らず、

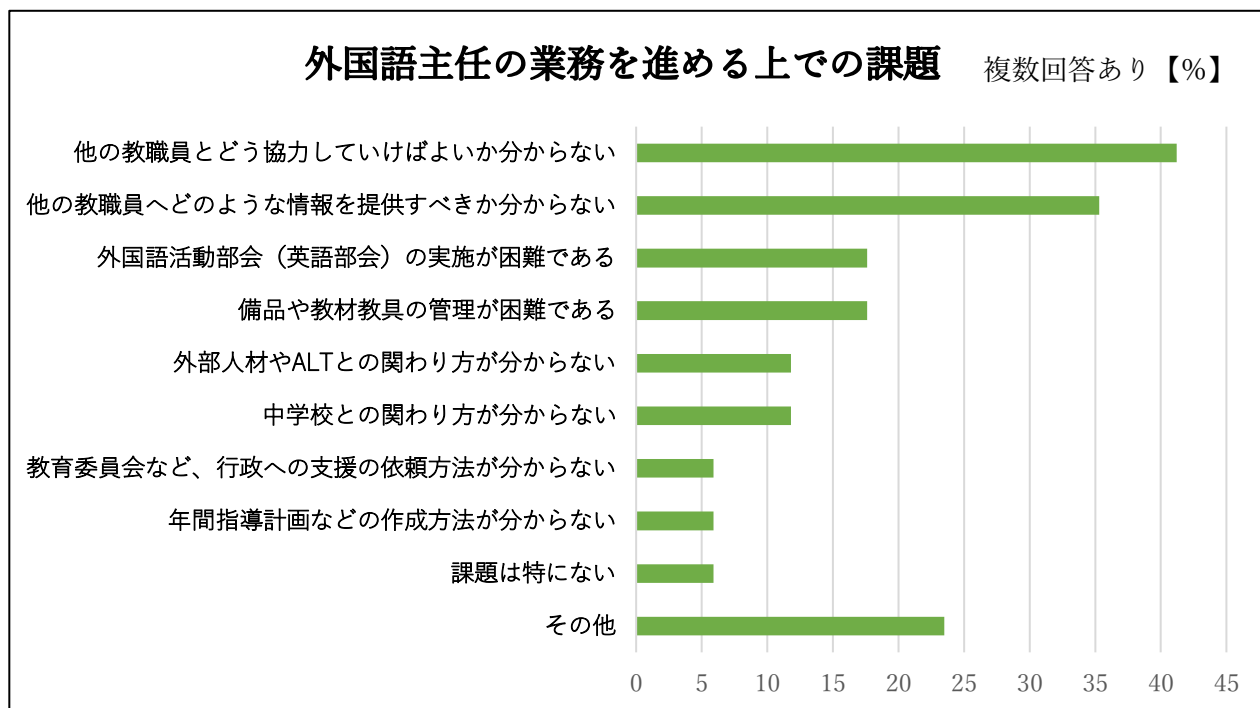
チームとして外国語教育に取り組みましょう。



Ⅰ．校内の外国語教育推進上の課題

外国語活動主任の先生方が、外国語教育に関わる仕事を進めていく上でどのような課題をもっているかについて調査しました。

平成 30 年群馬県教育研究会小学校外国語活動部会理事教諭対象アンケート結果より



<結果から分かる課題>

多くの外国語主任の先生が

- (1) 他の教職員との関わり方（部会の実施も含めて）
- (2) 学校外の人材（外部人材、中学校、行政）との関わり方
- (3) 備品や教材などの管理、情報提供用の資料準備

に困難さを感じていることが分かります。

何となく、外国語主任さんが一人で頑張ろうと
している気がするが・・・



外国語主任 A さん

2. 推進体制づくりのための年間業務リスト例

実施時期	内容（「ひと」との連携）	本冊子参照ページ ●問い合わせ先	内容（「もの」の活用）	本冊子参照ページ ●問い合わせ先
4月上旬			☆年間指導計画等の作成・修正（1）	p 39
			☆評価に関わる資料等の作成（2）	p 40
	☆ALT訪問日の確認、ALTとの打合せ（1）	p 30～33		
	☆管理職・教務主任と指導体制について確認（2）	p 34		
	☆第1回外国語部会の実施、共通理解（3）	p 35 →	☆外国語部会における検討事項を職員へ伝達	
	☆外部人材に依頼する件がある場合は、連絡・調整（4）	P 36 ●各教育センター、 教育委員会等		
	（☆管理職・研修主任と研修について協議）※研修編も参照	p 34		
			☆英語ルームの使用割り振り表確認、英語ルームの整備（部会メンバーと）	p 50
4～5月	☆市町村や郡の外国語主任会議に参加（5） （会議内容の伝達）	p 38	☆授業づくり支援のための情報提供（3）	p 41～43
			☆校外研修についての情報提供（4）	p 43 ●各教育センター等 ●大学など
5月			☆授業参観やPTA会議等の場を活用し保護者へ情報提供（5）	p 44
5月			☆外部試験等の情報提供（6）	p 45
	☆第2回外国語部会の実施（1学期の評価について等）（3）	p 35 →	☆外国語部会における検討事項を職員へ伝達	
7月	☆1学期のまとめ			
8月	☆校外研修等に可能な限り参加			●各教育センター等
	☆ALTが代わる場合は、新しいALTとの情報交換（1）	p 30～33		
9月			☆備品・教材・教具の確認、整備（部会メンバーと）	
			☆先進校等による実践研究報告会の情報収集や情報提供	●各教育センター等
11月ごろ	☆第3回外国語部会の実施（2学期の評価について等）（3） ※次年度の外国語教育関係備品購入希望の提出	p 35 →	☆外国語部会における検討事項を職員へ伝達	
12月	☆2学期のまとめ			
2月	☆第4回外国語部会の実施③ ※次年度に使用する教材や教科書の確認、申し送り事項の協議	p 35 →	☆外国語部会における検討事項を職員へ伝達	
			☆次年度の年間指導計画の作成（1）	p 39
3月			☆研修や業務に関わるデータやファイルの整理	
	今年度の成果と課題のまとめ、次年度への引き継ぎ準備			

（注）業務は一例です。学校や地域によりリストにない業務もあります。

「外国語部会」を上手に活用して、いろいろな人に力を貸してもらいながら頑張れそうだ！



外国語主任 A さん

3. 「ひと」との連携

(1) ALT (Assistant Language Teacher) との連携

関わり方編

Q: ALT とどのように関わっていけばよいでしょうか。



外国語主任 E さん



アドバイザー S さん

A: まずは、**英語力よりも ALT との人間関係を築くことの方が重要**です。

ALT は小学校の全ての先生が英語を得意としていないことを理解している
はずです。 **ALT の特徴や役割を理解する**とともに、他の先生方と ALT を
つなぐコーディネーターになれるように、外国語主任が ALT と意欲的にコ
ミュニケーションを取りましょう。一人ではなく、外国語部会の先生など
みんなで話す場面を設定するのもよいでしょう。

ALT の特徴や役割を理解しましょう

平成 29 年の文部科学省の調査では、JET プログラムの他、直接任用、労働者派遣契約
や請負契約等も含め、日本の学校で働いている ALT は全国で 12,000 人を超えました。

8 割の ALT が「自分の強みが学校に活用されていると思っている」という結果から、お
おむね自分の役割を肯定的に捉えているということが分かります。

ALT の特徴

約半数の ALT が日本の滞在
期間 0～3 年

ALT の 8 割は
40 歳以下

教員免許を取得している
人は全体の 14%

83%の ALT が、研修
を受けています。

小学校に勤務する ALT の出
身国は、アメリカが 47%、次
いで フィリピン、イギリス、
カナダ、オーストラリアとな
っています。

男性が 55%、女性が 45%

(出典 平成 26 年「小学校・中学校・高等学校における ALT の実態に関する大規模アンケート調査研究中間報告書」)

ALT の役割

- ◎正しい英語を話す存在
- ◎児童の英語を使ったコミュニケーションの相手であるという存在
- ◎異国の文化や生活について教えてくれる存在

↑ このような特性を生かして授業の補助を行うこと



『研修ガイドブック』（文部科学省）p110 より

ALT の自己有用感を高める工夫をしましょう

「日本人の先生はめったに話し掛けてくれないし、子どもたちが失礼な態度をとってくださることもあります」と、学校の中で日本人教員や児童との関係に問題を感じている ALT もいます。ALT が学校で生き生きと仕事ができるように、外国語主任が ALT 活用のポイントを押さえて、いろいろな提案や働き掛けをしてみましょう。

ポイント1 ALT の魅力を最大限に生かしましょう！

普段の何気ない会話を通して ALT の人柄や人間性、性格や趣味などを理解し、ALT の得意な面が生かされるように工夫しましょう。

ポイント2 研修や行事で ALT の活躍場面を増やしましょう！

授業だけでなく、教員向け研修の講師としてはもちろん、それ以外の場面で ALT が主体的に意欲的に取り組める活動を提案してみましょう。

ALT の活用例（授業・研修以外の場面で）

- ★校内の案内表示作成
- ★教材の作成支援（「ご当地チャンツ」「〇〇小フォニックス」など地域に関連する教材作成に協力してもらう）→ALT に地域を知ってもらう契機に！
- ★英語集会の実施（手遊び、歌、ゲームなど）
- ★給食時などの英語放送
- ★児童会行事への参加協力（七夕集会、クリスマス会など）
- ★出身国の文化を知らせるための掲示物やコーナーの作成
- ★放課後の職員または児童対象チャット・タイム、英会話レッスン

打合せ編

Q: 英語に自信がないのですが、ALT とどのように打合せをすればよいでしょうか。



外国語主任 E さん



アドバイザー S さん

A: 100%英語で打合せができなくても、**ジェスチャーを交えたり、簡単にポイントだけ示した指導案を用いたり、実際に使用する教材や活動の図を見せたりしながら説明したりすると、伝えたいことを理解してもらえ**でしょう。打ち合わせたい内容を焦点化して、単元や本時のねらい、支援してほしい場面などを共通理解しましょう。**打合せシート**を活用するのもよいでしょう。**頻繁に使用する英語表現は、使っていくうちに自然と身に付いていく**こともあります。4月の段階で完璧を目指すことなく、時間をかけて打合せのスキルを習得していくイメージでいるとよいでしょう。

資料

ALT との打合せに関する資料

参考文献

『研修ガイドブック』実習編 **2**基本英会話 p124～129 文部科学省

参考文献

『ALT とコミュニケーションをとるための英語表現集』

群馬県英語教育開発カリキュラム 群馬県総合教育センター 平成 27 年

参考文献

『はばたく群馬の指導プラン（実践の手引き）』外国語活動 ALT との TT を効果的に行うために
群馬県教育委員会 平成 26 年

『外国語活動の手引き』（群馬県教育委員会 平成 23 年）では ALT との打合せを複数の教員で行うことを提案しています。一対一の打合せも大切ですが、複数の教員で行うことで意思疎通がうまくいきやすくなります。時間調整等の都合がつけば、他の学級や他学年の先生にも集まってもらい打合せをしてみてください。打合せシートがない場合は、「外国語部会」で協議して作成してもよいでしょう。各学校で使いやすいものがあるとよいですね。



打合せシート (English Lesson Plan)

→第三章 資料編 p 49

評価編

Q: これからは小学校でもパフォーマンス評価が導入されていく方向だと聞きました。児童の取組を評価する上で、ALTの先生に関わってもらうことは可能でしょうか。



外国語主任Eさん



アドバイザーSさん

A: 普段の授業においてもALTと評価の分担ができるので、もちろん**パフォーマンス評価についても関わってもらうことはできます**。条件がそろえば、ALTと児童が対面で会話する時間が取ればよいですね。ただし、評価に関わってもらう場合は**事前に評価基準をALTに示し、共通理解を図っておくことが大切です**。

パフォーマンス評価とは？

CAN-DO リストに基づいて示される「目指す児童像」が、実際にどの程度実現されているかを見取る方法のことです。最近では、ALTや日本人教師が面接方式で生徒と会話することで「話すこと（やり取り）」の到達度を評価したり、単元の最後にスピーチの活動を設定し、「話すこと（発表）」の到達度を評価したりする中学校もあります。学期に一回など、定期的な実施している学校が増えてきているようです。

小学校においては、中学校の方法を簡素化して導入することも可能でしょう。パフォーマンス評価の内容や観点、実施方法、実施時期などについては、近隣の中学校からの情報を得るとよいでしょう。児童の普段の取組や努力をリラックスした雰囲気の中で出せるように工夫し、評価のための活動にならないように計画してみましょう。

連携しましょう

中学校教員
他校の外国語主任

参考文献

『研修ガイドブック』研修指導者編

4(2)CAN-DO リストに即したパフォーマンス評価
p180 文部科学省



(2) 管理職・教務主任・先生方との連携

Q: 管理職や教務主任とはどのようなことを確認し合って連携を図ればよいでしょうか。



外国語主任Bさん



アドバイザーSさん

A: 外国語教育に関わる懸案事項は「**管理職**」と相談して進めていくのがよいでしょう。特に、**他校との関わりを含む取組（小小連携・小中連携）に関しては、管理職同士で連絡調整を行ってもらう**ことが望ましいでしょう。また、「**管理職**」や「**教務主任**」と外国語活動及び外国語科の**授業時数確保の仕方について確認**し、さらに ALT との打合せの時間調整等でも相談に乗ってもらいましょう。



外国語主任



管理職の先生

教務主任

Q: 外国語教育の推進ということでは、他にどんな先生との連携が考えられますか。



外国語主任Bさん



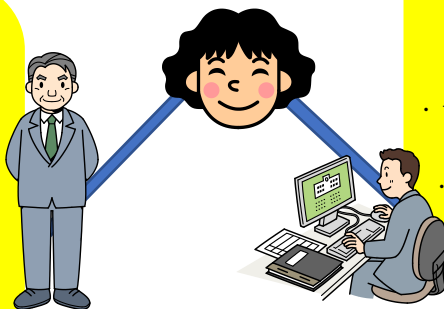
アドバイザーSさん

A: 例えば、「**研修主任**」や「**情報主任**」と連携できそうです。相談に乗ってもらったり、協力を依頼したりすることもできそうです。

研修主任

研修についての相談

- ・ 研修の企画や準備
- ・ 当日の進行の仕方
- ・ 外部講師の依頼の仕方 等



情報主任

ICT 機器等に関わる相談

- ・ デジタル教材の使用法
- ・ 情報共有の仕方 等

(3) 外国語部会の実施

Q: 外国語部会とはどのような組織ですか。また、外国語部会では具体的にどのようなことをしたらよいですか。



外国語主任Cさん



アドバイザーSさん

A: 外国語部会とは、**外国語活動・外国語の授業に関わる先生方を中心メンバーとした組織の一つ**です。専科教員が授業の全ての授業に関わっている場合は、3年生以上の担任の先生をメンバーとしてお願いするとよいでしょう。校内全員の先生ではなく、更に絞られたメンバーで意見を出しやすくするなどの工夫をし、話し合われた内容を全職員に広げていくようにしましょう。**外国語部会は、共通理解・情報提供・共同作業の場**と捉えましょう。活動内容は、下の表を参考にしてください。

外国語部会における活動内容の例

○第Ⅰ回（年度当初）の協議

- ☐使用する教科書、教材、ワークシート等の確認
- ☐英語ルームの使用
- ☐ALTの配置や訪問日の確認
- ☐ALTとの打合せの仕方
- ☐研修の内容
- ☐目指す児童像について
- ☐単元構成
- ☐1単位時間の流れ など

○部会としての立案

- ☐外国語に関する学校行事や環境整備についての企画・立案
- ☐外国語と他教科との関連で実施可能な活動について企画・立案 など

○評価に関する協議

- ☐3・4年の外国語活動の評価規準、評価方法
- ☐5・6年の外国語科の評価規準、評価方法
- ☐文章表記による評価の仕方
- ☐パフォーマンステストやスピーキングテスト等の実施
- ☐振り返りカードの様式や振り返りのさせ方 など

○備品・教材・教具の作成や補修、整理、英語ルームの環境整備

CHECK! P28の「年間業務リスト」では年4回の部会を提案しています。回数や実施日、構成メンバー等、各学校の実態に応じて設定してください。

(4) 外部人材との連携

Q: 外部人材にはどのような人がいるでしょうか。また、どのように連携を図ればよいでしょうか。



外国語主任Dさん



アドバイザーSさん

A: ALT 以外に 授業や行事で関わってもらえそうな方をリストアップしました。**それぞれの方の特徴や連携の仕方について、よく確認**しておいてください。これ以外にも、学校や市区町村で独自に外部人材を活用している場合もありますので、**外部人材が必要な理由を明確にした上で連携の可能性を探っていくとよいでしょう。**

a) 英語教育アドバイザー、英語教育支援員、イングリッシュサポーター等

各自治体教育委員会では、教職員の指導力向上を目指して、英語指導に対するアドバイスを行う立場の人材を整備しているところもあります。名称は様々ですが、各地域で現場の職員の悩みに答えたり、授業や教材づくりのアイデアを提供したりしてくれています。校内における研修の講師としても招聘することも可能かどうか、教育委員会等に問い合わせてみてください。また、依頼方法についても確認してみてください。

群馬県の実践（英語教育アドバイザー：EAT）

役割①モデルとなる授業の実践（教える）

- ・ 配置校での授業実践
- ・ モデルとなる授業の公開

役割②他の教員へのサポート（育てる）

- ・ 周辺校に出向いて、他の教員の授業への指導・助言
- ・ 他の教員と一緒に授業実践

役割③地域の研修会での指導（広げる）

- ・ 市町村等での研修会の講師
- ・ 県の教員向け研修での講師



（出典 群馬県教育委員会 Web ページ）

b) 指導主事（教育委員会、教育センター等）

各自治体では「研修サポート隊」や「出前講座」などの指導主事による研修支援を依頼することができるシステムが整備されているところもあります。最近では Web ページで申込みができるようになるなど、活用されやすくなってきているところもあります。各自治体等に問い合わせてみてください。

c) 中学校教員

ここ数年、中学校教員が近隣の小学校の外国語授業に参加しているケースが増えつつあります。これまでも全国の研究開発学校では中学校教員による乗り入れ授業を充実させ、中学校の「外国語」との接続をスムーズにする取組が報告されています。

中学校の英語の先生が小学校で指導に当たる場合は、「期待されること」と「注意すること」を十分に理解し、各学校の実態に合った方法で連携を進めていくことが大切です。

期待されること

- 専門的な知識、確かな指導力で授業の進め方等参考になる点が多い。
- A L T とのコミュニケーションが円滑にできるので、突発的な出来事にも臨機応変に対応できる。
- 発音やイントネーションなど、児童のよいモデルとなる。
- 中学校の学習内容と関連付けた指導ができる。
- 中学校の情報提供をしてもらえる。
- 英語学習の難しさを理解しているので、活動に消極的な児童への配慮ができる。



中学校教員



校内における
研修の講師と
しても連携が
可能！

注意すること

- ◇児童一人一人の特性を理解しにくい
ため、個別支援等で困難な場合がある。
- ◇担任とA L T と中学校教員の役割分
担を明確にしないと、授業の主導が
誰なのか分からなくなる。（十分な
事前の打合せが必要）
- ◇所属中学校における時数の組み方や
業務の分担など、中学校側の先生方
の負担を生じさせる可能性もある。
- ◇小学校の学習内容を十分理解した上
で、中学校における学習の前倒しに
なるような過度に高度な内容を取り
入れないようにしてもらう必要があ
る。

d) 地域人材、地域の大学、NPO 団体など

学校支援コーディネーターや教育委員会を通して、地域で英語に堪能な方をゲストティーチャーとして活用している学校もあります。また、地域の大学（短期大学）や NPO 法人が子供又は大人を対象に出張講座を開設しているところもあります。教員向けの研修だけでなく、授業に参加してもらったり PTA 講座で英語教育や国際理解教育に関する講義をしてもらったりするなどの方法で活用できるかもしれません。まずは、近隣で探してみてください。

(5) 他校の外国語主任との連携

Q: 外国語教育に関して、他の小学校がどんな取組をしているのか知る機会がありますか。



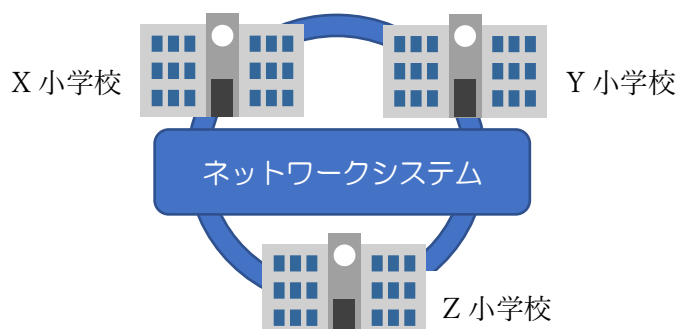
外国語主任 E さん

A: 各地域で行われる「**主任会議**」を有効に活用しましょう。開催時期や回数は地域によって異なりますが、**他校の外国語主任とじかに情報交換ができる貴重な機会**です。主任会議では役員の選出、決算報告、事業計画の立案など議題が多い場合もありますが、できれば**活発に意見や情報交換ができる時間**をもてるとよいですね。

情報の共有には、校務支援システムなどの**ネットワークシステム**を活用しましょう。他校の先生が作成した教材や指導案などを外国語主任同士で互いにやり取りする中で、よいところを吸収し合って高め合えるとよいですね。市区町村内で共有サーバーがあれば、作成した資料などを同じフォルダに保管して活用も可能です。



アドバイザー S さん



学校と学校が
ネットワークで
つながる時代へ！

4. 「もの」の活用

(1) 年間指導計画等の作成

Q: 年間指導計画などは、どうやって作成すればよいのでしょうか。



外国語主任Bさん

A: 外国語主任が作成するものは何種類かありますが、ゼロから作成しなくても**昨年度のものを修正したり、既存のものを学校の実態に合わせて作り替えたりする**とよいでしょう。

★**年間指導計画**については、使用教科書が決まったら、教科書会社が作成したものも活用できます。

★**学習指導案**は、各学校の様式を踏まえて外国語活動・外国語科のものを作成できるようにしましょう。

★**ワークシート**は、外国語部会で共通理解を図った上で準備（作成）していきましょう。



アドバイザーSさん

資料

年間指導計画、学習指導案、ワークシートの作成に関する資料

年間指導計画		文部科学省Webページ、各教科書会社Webページ
		『研修ガイドブック』実践編p92 2：年間指導計画の立案（授業研究編ⅠとⅡに年間指導計画例もあります）
学習指導案		『研修ガイドブック』実践編p95 3：指導案の作成
		「えいごネット」内「事例・指導案を探す」から検索可能 財団法人英語教育協議会（ELEC）
ワークシート		「Let's Try! 1, 2」「We Can! 1, 2」ワークシート 文部科学省Webページからダウンロード可能
		「平成27年度版群馬県小学校英語教育カリキュラム案」『カリキュラム案』（各学年のフォルダ内にワークシートあり）群馬県教育委員会・群馬県総合教育センター 2015

連携しましょう

教育委員会、指導主事、英語アドバイザー教員などの外部人材
外国語部会の先生

(2) 評価に関わる資料等の作成

Q: 評価に関して外国語部会で協議するのですが、どのような資料を準備すればよいでしょうか。



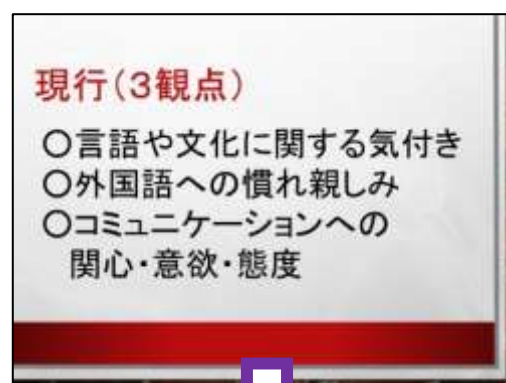
外国語主任Bさん



アドバイザーSさん





A: 新学習指導要領の下での学習評価については、下図を参考の上、観点がどのように変わるのかをまず確認し、新たな情報が発表された段階でそれを資料として協議をしましょう。

「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」では、評価方法の工夫として①振り返りカードと②CAN-DO リスト に即したパフォーマンス評価を例に挙げています。この二つに関しては、各学校において共通理解の上で作成・活用してもらいたいと思います。



資料

評価に関わる資料作成のヒント

CAN-DOリスト		『研修ガイドブック』 研修指導者編p180 4 授業改善の視点 → 4 評価を工夫しよう！ (2) CAN-DOリストに即したパフォーマンス評価 文部科学省
		『平成27年度版群馬県小学校英語教育カリキュラム案』 「単元の振り返り用 CAN-DOリスト」 群馬県教育委員会・群馬県総合教育センター 2015
振り返りカード		『研修ガイドブック』 研修指導者編p179 4 授業改善の視点 → 4 評価を工夫しよう！ (1) 振り返りカード 文部科学省
		『平成27年度版群馬県小学校英語教育カリキュラム案』 1. カリキュラム案 (各学年のフォルダ内にサンプルあり) 群馬県教育委員会・群馬県総合教育センター 2015

(3) 授業づくり支援のための情報提供

Q: 先生方には、どのような情報提供をすれば授業で役立てていただけるでしょうか。



外国語主任Cさん



アドバイザーSさん

A: 時間があまりなくても**指導案や教材を簡単に検索できる Web ページ**や、**教材として活用できる動画や音声素材などの紹介**をするとよいでしょう。**アプリ（無料・有料）**なども場面によって活用してもらえそうです。

資料

外国語教育全般に関わる情報

えいごネット

文部科学省の協力により作成されている Web ページです。学習指導案、CAN-DO リスト、教材・素材、映像教材などを検索・閲覧することができます。

この Web ページだけでも、授業づくりや校内における研修のヒントとなる情報が多数見付けられます。

小学校における外国語教育については是非この Web ページを活用してみてください。

一般財団法人 英語教育協議会 (ELEC)

国立教育政策研究所

教育情報共有ポータルサイト

CONTENT (コンテット)

「コンテンツ」を開くと検索ができるようになっています。数万のコンテンツがあり、学習指導案、研究紀要、報告書などを検索・閲覧できます。

国立教育政策研究所

各教科書会社の Web ページ

教科書会社では視聴覚教材やワークシートのほか、英語の歌、ゲーム素材などを取りそろえているところもあります。最新の英語教育事情や関連書籍のほかに先進校の取組の紹介もされています。史上初の小学校英語の検定教科書が誕生します。できるだけ早めに情報を仕入れ、できるだけ早く先生方にその情報を提供するよう心掛けましょう。

今後は教科書関連の教材も多数作成・出版されることでしょう。既に書店では小学校英語に関わる教材も市販されています。日頃から情報収集に努めるようにしましょう。

各英語学習関連サイト

子供を対象にした英語学習を展開する民間企業が多数あります。特に幼児英語教育に関してはいろいろな情報が出されていますのでたくさんの参考になる部分があります。ダウンロード等は、それぞれの Web ページの規約に従ってください。

キーワード こども 英語 教材 など

資料

教材として活用できる動画、音声など（英語学習サイト）

各 Web ページには、利用規約があります。活用する場合は必ずその規約を守りましょう。

英語によるサイトは ALT に訳してもらったり使い方を教えてもらったりしましょう。

世界中の「教員」「先生」が作る Web ページ

英語を教えている人の Web ページには、授業のヒントが満載です。日本に限らず、世界には「英語の先生」がたくさんいるので、是非チェックしてみましょう。

キーワード English learn teacher

Web Japan

Kids Web Japan 外務省

日本を紹介する Web ページです。学習教材として学校や家庭で広く利用できそうです。いろいろな言語で紹介されています。動画資料も多数あります。

世界中のライブカメラ映像

リアルタイムで海外の様子を知ることができるので、時差についての理解が深まるでしょう。

英語圏の国の公共放送、国営放送 Web ページ

各国には、その国の公共放送がある場合が多く、中でも、英語によるサイトには動画も多くアップされていて、ネイティブが普通の速さで話す英語を視聴することができます。子供向けのページが用意されているところもあり、授業や研修のヒントになる素材があります。

無料オンラインストップウォッチ、タイマー、メトロノーム、リズムボックスなど

チャンツやゲームなどで利用できます。音声だけでなくスクリーンやテレビなどの画面に数字や画像も表示できるので、児童も見ることができます。


ペープサートや紙芝居、絵本など、アナログ教材のよさも生かして上手に活用しましょう！



英語学習関連アプリ、インターネット教材

タブレット端末用学習アプリは、無料のもの、有料のものなど多数あります。音声や映像資料も豊富です。自分の話す英語がネイティブに近い発音かを測定してくれるアプリも登場し、今後ますます進化していくことでしょう。外国語部会などで活用できそうなアプリを探し、先生方に紹介してみましょう。その際は使用目的を必ず明確にし、具体的な使用場面なども十分考慮して活用しましょう。

英語学習アプリ



インターネット教材

用途・目的によって選択

- ・英会話学習
- ・英単語習得
- ・英語検定などの問題
- ・リスニングドリル
- ・ゲームで英語学習
- ・動画

授業ではどの場面でどのように使用するか明確に！

(4) 校外研修についての情報提供

Q: 校外研修の情報は、どうすれば見つかりますか。



外国語主任Cさん



アドバイザーSさん

A: 校外でも学校に近い場所で開催される研修の方が参加してもらいやすいでしょう。まずは、**ご自身の都道府県や市町村の教育センターや研究所等の Web ページを確認**しましょう。また、教育学部を有する**大学や小学校外国語教育に関する団体が主催する研修**も多数あります。

「小学校英語」「研修」「講演」などのキーワードで検索してみましょう。
「えいごネット」からも探すことができます。

(5) 保護者への情報提供、保護者との連携

Q: 小学校外国語教育改革に対して、保護者はどれくらい関心がありますか。また、どんなことを発信していけばよいですか。



外国語主任Dさん



アドバイザーSさん

A: 保護者の多くは、小学校で外国語を教えることに理解を示しています。一方で、「先生がきちんと指導できるのか」「学校間で差が出ないか」などの不安をもっている方もいるかもしれません。**学校から、定期的に正しい情報を発信していくことが大切です。学校の方針や授業の様子を伝えるとともに、保護者との連携の方向を探っていきましょう。**

資料

早期化

小学校外国語教育改革について（小学生の保護者アンケート）

よいことだと思う	64.2%
早すぎると思う	8.8%
もっと引き下げるべき	14.0%

理由

世の中のグローバル化に対応するため
英語への抵抗を早くからなくすため など

教科化

よいことだと思う	59.5%
必要でない	15.1%
（今まで同様「外国語活動」でよい）	
3年生から教科化を	12.3%

理由

現在の「外国語活動」では、内容が十分でないため
習得目標ができるから など

（イーオン「2017 子どもの英語学習に関する意識調査」小学生の保護者 1000 人を対象にしたアンケート結果より）

保護者への情報提供、連携の仕方の例・・・外国語部会で具体案を検討しましょう

- ① 授業参観、懇談会、PTA 行事等で積極的に外国語の授業を公開する。
- ② 学校の取組や今後の外国語教育に関する情報提供を行う。（おたよりや Web ページで）
- ③ 学校評価アンケート等で保護者からの外国語教育に関する意見を聞く。
- ④ 授業や校内体制づくりへの協力を募る。
- ⑤ ゲストティーチャーやボランティアティーチャーとして授業に参加してもらう。
- ⑥ PTA 対象の国際理解講座を開催し、異文化理解を深めてもらう。

(6) 英語力アップのための外部試験

Q: 首都圏の私立中学では英語入試を導入している学校もあると聞きました。小学生が受験できる民間の外部試験にはどのようなものがありますか。



外国語主任Eさん

A: 小学生が受験できる試験はまだ少ないのが現状ですが、将来的には英語の試験や検定に挑戦したいという児童が出てくることもあるでしょう。そこで、機会があれば先生方や保護者に情報提供できるといいですね。大学入試でも民間の試験が重視されていくので、試験のレベル、受験資格、年間の実施回数や試験の内容などを Web ページなどで調べてみましょう。

傾向としては、高校卒業までに4技能（読む・書く・話す・聞く）をバランスよく習得することが求められていますが、「読む」「書く」ことが小学生にとっては高いハードルになります。そのことを十分理解した上で正しい情報を伝えるようにしましょう。



アドバイザーSさん

資料

主な検定試験（『英語4技能試験情報サイト』より抜粋）

試験名	実施団体	主な受験者層
実用英語技能検定	日本英語検定協会	小学生～社会人
TOEIC (L&R)	Educational Testing Service(ETS)	高校生～社会人
TOEIC (S&W)	Educational Testing Service(ETS)	高校生～社会人
ケンブリッジ英検	ケンブリッジ大学英語検定機構	中学生～社会人
TOEFL iBT	CIEE Japan	高校生～社会人
TEAP	日本英語検定協会	高校2年生以上

- (注)
- ・情報提供の際は、最新のものを伝えるようにしましょう。
 - ・検定試験はそれぞれ目的や活用の仕方が異なります。



コラム③ 研修や授業で使える英語ミニ知識

英語という言語そのものに興味をもってもらうのも、外国語教育推進の一步かもしれません。クイズ形式で出題すれば、児童も先生方も喜んでくれること間違いなし！

辞書に載っている中で最も長いつづりの単語

Pneumonoultramicroscopicsilicovolcanoconiosis

肺疾患の一種の名称だそうです。(45文字)
ちなみに、辞書には掲載されていませんが世界一
つづりが長い単語は、18万9,819文字の単語で通
称 Titin (チチン) と呼ばれている化学物質だそう
です。最初から最後まで読み上げると4時間近く
かかるそうです。そして、英語で最もつづりが短
いのは a (1つの) と I (私は) が思い付きます
が、いろいろと調べてみても面白そうです。

学校内で使われている「和製英語」

パソコン	コンセント
ボールペン	クリアファイル
プリント	ペットボトル
シャープペンシル	シール
クーラー	～センチ
キーホルダー	など・・・

★ 正しい言い方を辞書などで調べてみましょう！

通じると思っていたのに・・・



英語の早口言葉 英語では Tongue Twister と言います！

Peter Piper picked a peck of pickled peppers. (ピーター＝パイパーは1ペックの唐辛子ピクルスを取った。)

She sells seashells by the seashore. (彼女は海岸で貝殻を売っている。)

Mary Mac's mother's making Mary Mac marry me. My mother's making me marry Mary Mac.

(メアリーマックのお母さんは、メアリーマックにぼくと結婚させようとしている。ぼくの母はぼくにメアリーマックと結婚させようとしている。)

イギリス英語とアメリカ英語 同じ意味の語でも国によって違う言い方があります。

	autumn	秋	fall
	sweets	飴	candy
	film	映画	movie
	rubber	消しゴム	eraser
	tube	地下鉄	subway
	garden	庭	yard
	rucksack	リュックサック	backpack

British

English



American

English

「劇場」のようにスペルが
違う語もあります。

theater(米)

theatre(英)



第Ⅲ章

資料編

様々な関連資料です。



1. 外国語だよりの例

職員向けのおたより

〇〇小外国語だよりの 平成〇〇年 〇月〇日 文書 △△△

◇◇先生の研究授業が行われました！

〇月〇日、3年1組の外国語活動の授業を公開していただきました。お忙しい中、研修のために授業を担当していただいたA先生、大変お世話になりました。子どもたちがとても楽しそうに活動に取り組み、大きな声で英語を話していた様子が見られました。

秋葉原の授業研究会には多くの先生方に参加していただきました。話し合われたことについてご報告いたします。今後のご自身の指導に役立ていただければと思います。

☆本時の授業について

・場面 Let's Try! 1 Unit 3 How many? 第4時
 ねらい 漢字の語数を尋ねたり答えたりして、好きな漢字を紹介しよう

・授業・過程 How many strokes? Eleven strokes.
 授業の要点 本時に扱った表現を繰り返し練習する場面を設定することは、児童が自信をもつて尋ねたり答えたりする活動に参加する上で重要であった。

☆話し合われたこと

＜成果＞ ・先生方のデモンストレーションの段ですぐにペアで練習する時間を十分に確保できた。
 ・子どもたちが意欲的に好きな漢字について質問したり答えたりできていた。

＜課題＞ ・好きな漢字を両方の漢字に限定したので、語数の少ない漢字を選ぶ児童が多くなった。
 ・何度も練習する場面を工夫したが、なかなか strokes が書えない児童もいた。

＜改善策＞ ・1から20までの数字を書えるように練習もしていたので、書いていない漢字や自分の名前に使われている漢字も辞書し、児童の「伝えたい」という気持ちを大事にする。
 ・発音しにくい語は、1時間での定着を求めず、繰り返し使っていくながら慣れさせる。

☆授業者の先生より

自分もなるべくクラスルームイングリッシュを使って指示を出そうと思いました。子どもたちが予想以上に漢字に興味をもって楽しく活動に参加してくれて良かったです。

☆先生方の感想

・授業の流れがずっと一貫性があってスムーズでした。
 ・ALTの先生と担任の先生の役割分担がはっきりできていて、それぞれの長さが活かされていました。

和気あいあいとした雰囲気の中で、勉強も楽しめました。 Thank you

★「ALTの先生のコーナー」や「今月のワンポイント英会話表現」などを掲載することもできます。「今月の国」として他国の紹介をすれば異文化理解にもつながります。

★今後の外国語教育に関すること、外部試験のこと、協力の要請など、いろいろな情報を掲載できそうです。

(第II章・p44を参照)

時間がかかるようなイメージもあるかもしれませんが、研修や授業の写真を活用したり、児童の感想を掲載したりすれば、意外と手軽に作成できます！

- ・学期に1回、月に1回など、定期的に又は研修後など不定期に発行してみよう。
- ・情報提供の場としても紙面を利用しよう。
- ・職員用を保護者用へも作り替えて発行できます。

保護者向けのおたより

〇〇小 English News 〇〇年 〇月〇日 NO.〇 文書 △△△

英語の授業から

〇年生で行われた授業の様子です。習った表現を使ったゲームに取り組みました。これは「インタビューゲーム」の一環です。質問に対する友達への答えを基にしながら、できるだけ多くの友達にインタビューします。みんな笑顔で取り組んでいました。

〇年生では、自分たちの町について発表をする活動が行われました。町の中にある施設、ない施設を英語で伝え、作って歌い施設とその理由についても英語で言えるようになりました。「遊園地」「水族館」「デパート」など施設の言い方もたくさん覚えられました。

先生方の研修

子どもたちに負けないくらい、先生方も少しでも楽しく充実した授業ができるように頑張っています。

〇月〇日には、教員研修で指導力アップのために「他教科との関連性をいかにした授業づくり」についてアイデアを出し合いました。

英語の授業だけでなく、総合的な学習の時間や国語の時間などに英語を関与してできることはないが、先生方がいろいろな可能性を話し合いました。

〇年生では、秋に予定しているタイサービス訪問で、英語の時間に覚えた歌を歌うことになりました。〇年生では、家庭科で作った朝食メニューの材料を英語で紹介することになりました。

今月は「オーストラリア」を紹介します！コアラやカンガルーで有名な国ですが、国の大きさは日本の約20倍で、日本（成田）からシドニーまでは飛行機で約10時間の距離です。英語の発音が、アメリカとは少し違っているので、話してみると面白いですよ！

今月のワンポイントレッスン(4年生で習う表現)

Sounds good. (それ、いいね！)

2. 各種樣式例

校内研修（研究）計画書例

年間の計画を一覧表にまとめられます

△△年度 ○○小学校 外国語教育に関わる校内研修(研究)計画書

今年度、以下のように外国語教育に関わる研修を実施する予定です。よろしくお願いいたします。

研修の日時や開始時刻が決まり次第、再度連絡いたします。

△△年 月 日

	時期	種類	内容	場所	備考(持参資料等)
記入例	1学期	英語力	教室英語の練習	英語ルーム	当日資料を配付します。
	1学期				
	夏季休業				
	2学期				
	冬季休業				
	3学期				

↓

↓

(注意)

選択肢にないものを記入する場合は、「記入参考シート」の緑色のセルに直接入力してから選んでください。

外国語教育に関する研修のためのアンケート例

研修を企画するためのアンケートです。

<input type="checkbox"/> △年度	<input type="checkbox"/> ○小学校	外国語教育に関する研修のためのアンケート
今年度本校では年に数回、外国語の指導方向上や、先生方の英語力向上のための研修を実施したいと考えています。回数や内容、実施時期を決定するために、先生方からご意見をいただき、外国語部会で協議の上研修計画を立てたいと思います。年度初めのお忙しい時期に申し訳ありませんがアンケートへのご協力を宜しくお願いいたします。 ※１～４は該当するものに○印を付けてください。		
記入日:		年 月 日
ご記入者名:		
1	研修の実施回数について	
	年１～２回 ・ 年３～４回 ・ 年５回以上 ・ 何回でも ・ その他（ ）	
2	希望する研修の時期について（いくつでも可）	
	１学期 ・ 夏季休業中 ・ ２学期 ・ 冬季休業中 ・ ３学期 ・ その他（ ）	
3	希望する研修時間について	
	短時間(30分程度)に集中して取り組みたい ・ 長時間(60分程度)でもじっくり取り組むみたい その他（ ）	
	希望する研修内容について（いくつでも可）	
	<指導方向上研修>	
	ア 研究授業を中心とした研修	
	イ 模擬授業	
	ウ 講師による講義や活動の演習	
	エ 課題解決のためのワークショップ型研修	
	オ 教材作成	
	カ デジタル教材の活用法、ICT機器の使用方	
4	キ 授業づくり（１単元または１単位時間）	
	ク その他（ ）	
	<英語力向上研修>	
	ア 教室英語の練習	
	イ ALTとの打合せ、関わり方	
	ウ 発音トレーニング	
	エ 英語の歌やチャント	
	オ 日常会話の練習	
	カ その他（ ）	
5	現在抱えている課題、外国語教育に関する悩みや疑問点などがありましたらご記入ください。	
※ご協力ありがとうございました。記入後はお手数ですが 月 日までに外国語主任まで提出をお願いします。		

English Lesson Plan									No.			
Name of the school			Elementary School									
Grades			grades									
Date												
Unit												
Aim												
Key Phrases or words												
Procedure												
Activities of Students			HRT will...					HRT would like ALT to...				
Notes:												

ALT との打合せシート例

一単位時間の授業の流れが分かるもの
 のです。あらかじめ活動の名前などを
 リスト化しておく、その都度入力しな
 くてプルダウンすれば選択できるよう
 になり、入力の手間が省けます。授
 業のねらいや担任・ALTの活動など
 も、あらかじめよく用いられる表現
 をリスト化しておくとう
 いでしょう。

3. 英語ルームの整備例

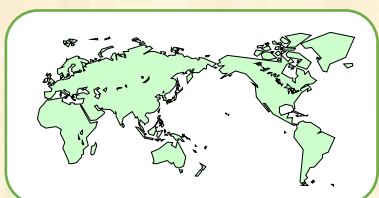


前面

ADVICE

外国語部会メンバーで相談しながら整備・管理をしましょう！

壁面



世界地図、ポスターなど
国際理解につながる掲示物



背面

英語の絵本、辞書など

ピクチャーカードや教具など
(カテゴリー別に分類して保管)



コラム④ 英語の身振り・表情・ジェスチャーとは？

一般的にはこのような意味で捉えられています。

- | | | |
|--------|---|--|
| 身振り | → | 意思や感情を表し伝えるための身体の動き。しぐさ。姿勢。 |
| 表情 | → | 内面の感情や情緒が顔つきや身体各部に表出されたもの。人間では、顔の表情を意味する場合が多い。 |
| ジェスチャー | → | 身振り、手振り、しぐさのこと。他の人に身振りや手振りを使って意思を伝えること。また、その身振りや手振り。 |

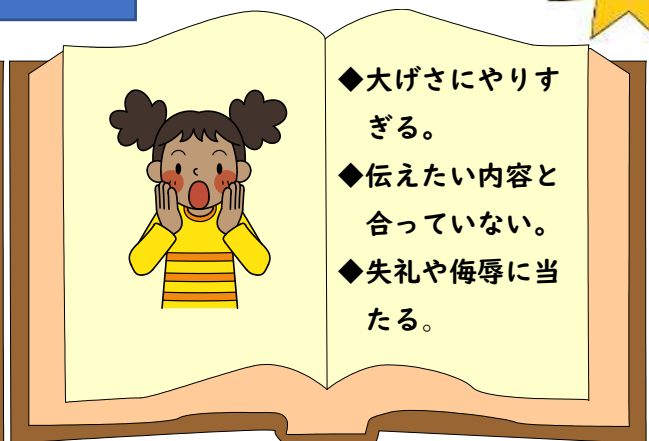
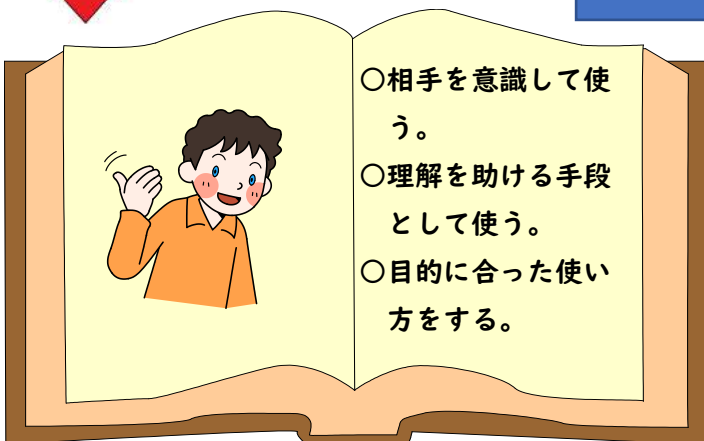
学習指導要領や解説ではこれらの明確な違いを示していませんが、要するに顔・手・体を使って相手に思いを伝える手段（非言語的要素）のことを指していると考えられます。特に、自分の思いを言葉でうまく伝えることができないときなど、有効に働くことが非常に多いということは言うまでもありません。また、言葉に添えてジェスチャーを使用することで、コミュニケーションが更に円滑に進むこともあります。

しかし、英語を母語としない日本人にとっては、どのような場面でどのようなジェスチャーをすればよいのか理解することは難しい場面もあります。また、国によってジェスチャーの意味することが異なる場合もあるので、誤った使用により相手に不愉快な思いをさせてしまうこともあります。

授業で身振り・表情・ジェスチャーを指導する際には、次の点に注意しましょう。



注意点



特にジェスチャーについては、使わせることが目的にならないように気を付けましょう！



コラム⑤ 英語の相づち・日本語の相づち

日本語において、相づちはコミュニケーションを行う上で非常に重要です。しかし、英語話者はあまり頻繁に相づちを打たれると、自分の話したいことを遮っているように感じてしまう人もいるそうです。相手が最後まで話し終わるのを待ってから、必要な相づちを打つことでコミュニケーションが円滑になることでしょう。

相づちの定義は難しく、特定の場面で使用される慣用表現も含めると考えると、小学校で扱いたい英語の相づち表現は意外とたくさんあります。教師だけでなく、児童も自然な形で相づちができるようになるためには、使い方や注意点を理解して、授業の中で練習していくようにしましょう。



「相手に失礼でないか」と心配し過ぎてもいけません。相づちの使い方よりも、まずは「相手の話を最後までしっかり聞く」という姿勢を教えてあげましょう！

資料

児童が使用できそうな相づち表現の例

	小学校第3 学年及び第4 学年 外国語活動		小学校第5 学年及び第6 学年 外国語	
軽い相づち	Uh-huh. / Uh-uh. / Yeah. / Oh.（驚き） / Umm. / Yes.			
承諾	OK.	分かった。いいよ。	I see.	なるほど。
同意	I got it. Me, too.	分かりました。 私も。	That's right. Right.	そのとおり。 そうですね。
賛成	Good! / Great!	いいね！	That sounds nice.	よさそうだ。
賞賛	Nice ~.	いい～だね。	Sounds good.	よさそうだね。
指示	How about~?	～はどうですか。	Tell me.	教えて。話して。
命令	Here you are.	はいどうぞ。	Just a minute.	ちょっと待って。
驚き	Wow! Oh, no.	うわあ。 ああ、いやだ。	Oh, my god! Really?	うわあ、参った！ 本当に？
質問	Me?	私ですか？	Why?	なぜ？
聞き直す	One more time, please. Once more, please.	もう一度お願いします。	Sorry? / Pardon?	もう一度言って。
意見	I don't know.	分かりません。	That's too bad.	残念だね。
感想	So many!	そんなにたくさん！	No, not really. I have no idea.	そうでもないよ。 全然分からない。

※5, 6年生には Small Talk でこれらの表現が使えるように指導することもできます。

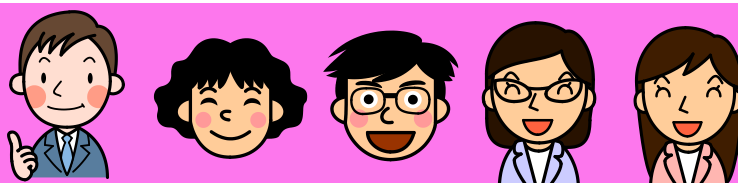
参考文献

- 文部科学省「小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編」2017
- 文部科学省「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」2017
- 国立教育政策研究所「小学校英語教育に関する調査研究」2017
- 吉田研作研究代表者「小学校・中学校・高等学校における ALT の実態に関する大規模アンケート調査 研究中間報告書」上智大学 2014
- 群馬県教育委員会「はばたく群馬の指導プラン 実践の手引き」2014
- 群馬県教育委員会「外国語活動の手引き～5つの課題とその解決に向けて～」2011
- 吉田研作「小学校英語教科化への対応と実践プラン」教育開発研究所 2017
- 唐澤博・米田謙三「英語デジタル教材作成・活用ガイド」大修館書店 2014
- 群馬県教育委員会・群馬県総合教育センター「平成 27 年度版群馬県英語教育カリキュラム案」 2016
- 群馬県教育委員会・群馬県総合教育センター「平成 28 年度版群馬県英語教育カリキュラム短時間学習案」 2017
- 福岡県教育センター「小学校英語教育における教科化の実践に向けた校内研修プラン」 2018
- 英語 4 技能 資格・検定試験懇談会「英語 4 技能試験情報サイト」 2018
- 独立行政法人教職員支援機構「校内研修シリーズ」 2018
- 水谷信子「感じのよい英語 感じのよい日本語～日英比較コミュニケーションの文法」くろしお出版 2015

外国語主任さんが

見通しと自信をもって

その業務を進めていきますように・・・



平成 31 年 3 月
発行 群馬県総合教育センター
長期研修員 須藤 厚子
〒372-0031
伊勢崎市今泉町 1-233-2
電話 (0270) 26-9213
(義務教育研究係)